HITACHI

液晶プロジェクター

形名

CP-SX5500J

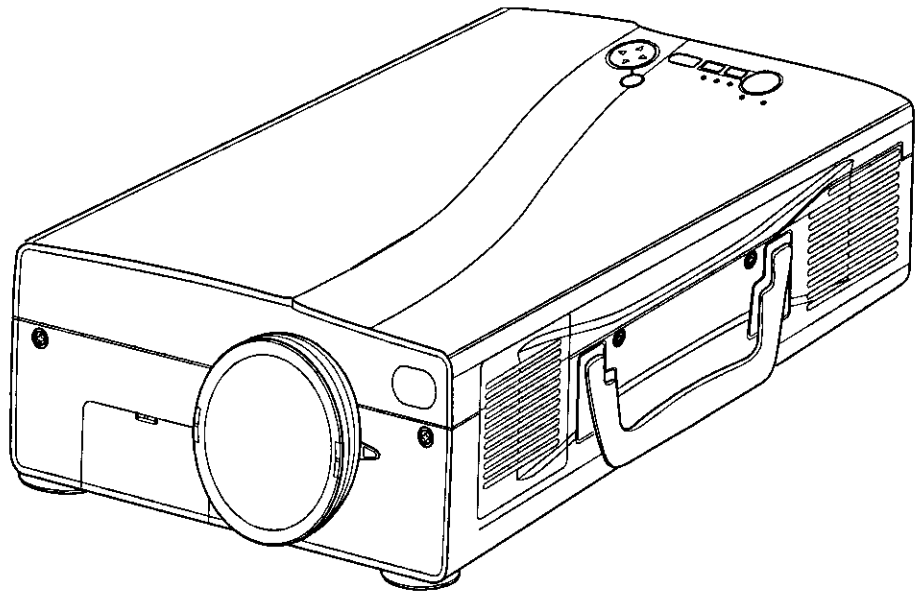
取扱説明書

使用上のご注意

取扱説明

仕様

保証とアフターサービスについて



このたびは、日立液晶プロジェクターをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は大切に保管してください。

使用上のご注意

ご使用のまえに

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

絵表示の意味

⚠ 気をつけなければならない。「注意」を示します。

「破裂注意」

してはいけない。「禁止」を示します。

「分解禁止」

必ず行う。「強制」を示します。

「電源プラグをコンセントから抜くこと」

安全上のご注意

⚠警　告

■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、本機および電源コード、ケーブル類などに損傷がある、本機の内部に異物（水、金属など）が入った、などの異常や故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはサービス会社（「サービス会社一覧表」ご参照）に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●電源プラグはすぐに抜くことができるように設置する。

■子供やペットに注意する

本機や付属品（リモコン、乾電池など）の取り扱いを誤ると、火災、感電、けが、火傷、視力障害などの原因となります。お子様やペットのいる場所でご使用や保管には、十分注意してください。

■異物や液体を入れない

内部に金属類などの異物や水などの液体が入ると、火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはサービス会社（「サービス会社一覧表」ご参照）にご連絡ください。

●風呂場やシャワー室、屋外や水辺など、ぬれるところに置かない。
●花瓶、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを近くに置かない。
●金属や、燃え易いものなどを近くに置かない。

■分解したり、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店またはサービス会社（「サービス会社一覧表」ご参照）にご依頼ください。

■衝撃を与えない

落としたりぶつけたりすると、けがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはサービス会社（「サービス会社一覧表」ご参照）にご連絡ください。

⚠警　告

■不安定な場所に置かない

落ちたり倒れたりすると、けがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

- ●ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定なところに置かない。
- ●キャスター（車）付きの台にのせる場合はキャスター止めをする。
- ●横向き、レンズの上向き、下向きには置かない。

■高温に注意する

使用中や使用後しばらくは、本機のレンズや通風孔から出る空気は高温になり、火災、火傷の原因となります。また、内部の温度が上がりすぎると故障の原因となることがあります。

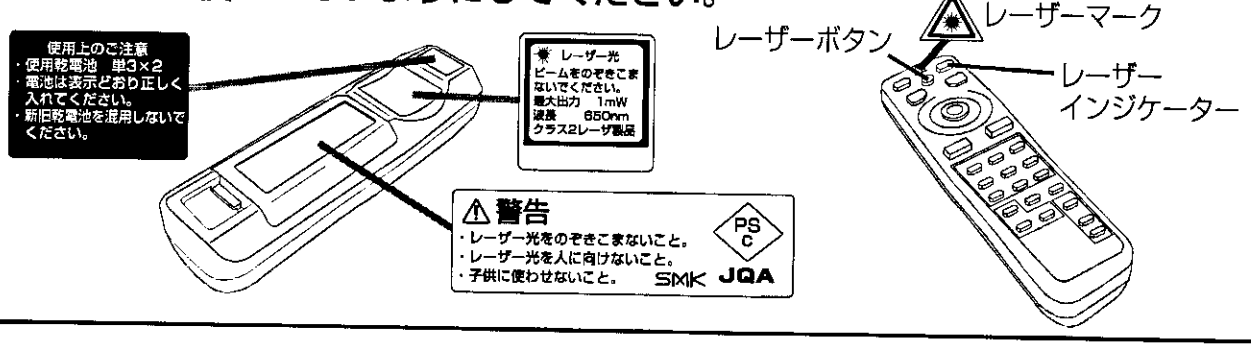
- ●使用中や使用後しばらくはレンズや通風孔の付近に触れない。
- ●風通しの良い場所に、周囲の壁や物から30cm以上離して設置する。
- ●金属などの熱が伝わり易い台の上で使用しない。
- ●レンズや通風孔の近くに物を置かない。
- ●通風孔を塞がない。
- ●通風孔のある面を下にして置かない。
- ●テーブルクロスや布などをかぶせない。
- ●カーペットや布団の上に置いて使用しない。

■レンズをのぞかない

ランプの点灯中は強い光が投射されていますので、視力障害などの原因となります。絶対にのぞかないでください。

■レーザー光を目にあてない

リモコン送信機のレーザーポインターは指し棒の代わりに使用するものです。レーザー光を直接覗きこんだり、他の人にレーザービームを向けたりしないでください。レーザービームが目にあたると視力障害などの原因となります。また、お子様に使わせないようにしてください。



⚠警　告

■指定（本体に表示）の電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外でのご使用は、火災、感電の原因となります。

■電源は正しく接続する

電源コードの取り扱いを誤ると火災、火傷の原因となります。

- ●ぬれた手で電源コードに触れない。
- ●電源プラグや周辺に付着した埃や金属類は、接続まえに乾いた布で拭き取る。
- ●電源プラグは根元まで確実に差し込む。ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しない。

■アース線は接続する

アース線を接続する

本機を金具等で固定する場合には、アース線を接続しないと、火災や感電の原因となります。

本機のACインレットのアース端子を、別売の3芯電源コードを使用して、建物に備え付けられているアース端子へ接続してください。

■ランプの取り扱いに注意する

破裂注意

ランプはガラス製で寿命のある製品です。ランプの取り扱いを誤ると火傷の原因や、破裂してけがの原因となります。

ランプ交換の際は必ず本書の「ランプについて」の項をお読みになり、「仕様」の項に記載の交換用ランプの型名をご確認のうえ、販売店またはサービス会社（「サービス会社一覧表」ご参照）にご連絡ください。

- ●ランプに衝撃を与えたり、傷つけたりしない。
- ●ランプ交換は高温状態で行わない。電源スイッチを切って十分冷ましてから行う。
- ●交換用ランプは、本書に指定の、新しい（未使用）ランプを使う。

⚠警　告

■電源コードや接続ケーブルを傷つけない

損傷のある電源コードや接続ケーブルを使用すると火災、感電の原因となります。

電源コードや接続ケーブルに損傷がある場合は使用せず、販売店またはサービス会社（「サービス会社一覧表」ご参照）にご相談ください。

- ●本機や重いものを乗せない。
- ●ケーブル部分を持って引っ張らない。
- ●加熱しない。本機のレンズや通風孔、ヒーターなどの発熱源の近くには置かない。
- ●無理に曲げたり、加工したりしない。

■電池の取り扱いに注意する

電池（リモコン送信機用）の取り扱いを誤ると火災や人体への傷害の原因、破裂してけがや周囲の汚損の原因となります。

電池交換の際は、必ず本書の「電池の入れ方」の項をお読みください。

- ●電池は子供やペットの届かないところに保管する。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談する。
- ●電池を火や水の中に入れない。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥した場所に保管する。
- ●電池に衝撃を与えたり、傷つけたりしない。分解、半田付けなど、加工しない。
- ●電池を充電したり短絡したりしない。電池をピンセットなどの金属製の物で持たない。
- ●交換電池は、本書に指定の、新しい（未使用）電池を使うこと。
- ●電池を入れるときは、リモコン送信機の極性表示（⊕、⊖）に注意して正しく入れる。
- ●電池が液漏れした場合は、漏れ液を布などで拭き取って新しい電池に交換する。漏れ液には直接触れない。皮膚や衣服に付いてしまった場合は水でよく洗浄する。
- ●廃棄は、廃棄を行う地域の法律や条令に従って正しく行う。

⚠注　意

■移動や運搬のときに衝撃を与えない

落としたりぶつけたりすると、けがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

落としたりぶつけたりしないように注意してください。

- ●使用中には移動しない。移動時は、予め電源コードやケーブルの接続を外し、レンズはレンズキャップを取り付けて保護する。
- ●キャリングバッグが付属されている製品の持ち運びにはこれを使用する。キャリングバッグについてはキャリングバッグの説明書に従う。
- ●引越しや修理などで搬送する場合は、本機用の梱包材を使用する。

■本機の上に乗ったり、物を置いたりしない

不安定になって落ちたり倒れたりすると、けがや火傷、破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

■湿気やほこりの多いところ、煙草の煙や油煙、湯気などがあたるところに置かない

火災、感電の原因となることがあります。

- ●調理台や加湿器の近くに置かない。
- ●喫煙所や、喫煙者のいるところに置かない。

⚠注　意

■高温になるところに置かない

火災、感電の原因やキャビネットが傷む原因となることがあります。

- ●直射日光の当たるところ、ヒーターなどの発熱源の近くには置かない。
- ●通風孔のある面を下にして使用しない。

■使用しないときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

電源の完全な切断のためには電源スイッチを切るだけでなく電源プラグを抜いてください。

- ●長時間使用しないときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。
- ●お手入れやランプ交換のときなどは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。

■2年に1度は内部のお手入れを販売店に依頼する

内部にほこりがたまった状態で使用し続けると、火災、感電の原因となることがあります。

内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店またはサービス会社（「サービス会社一覧表」ご参照）にご相談ください。

お客様による内部のお手入れは危険ですのでおやめください。

お守りください

■リモコンに衝撃を与えないでください

破損や故障の原因となることがあります。

●リモコンを投げたり、落としたりしないでください。
●リモコンに重い物を乗せないでください。

■レンズの取り扱いに注意してください。

レンズが傷つくと破損や故障の原因となることがあります。くもりや汚れは画像品質に悪い影響を及ぼすことがあります。

●使用しないときはレンズキャップを取り付けてください。
●レンズには直接手を触れないでください。
●レンズのお手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）で行ってください。レンズを硬いもので傷つけないようにご注意ください。

■エアーフィルターのお手入れについて

エアーフィルターがほこりや汚れでつまると、内部温度の上昇を防ぐために電源が自動的にOFFになったり、機種によっては「吸気口をチェックしてください（CHECK THE AIR FLOW）」などのメッセージが表示されたりすることがあります。

お手入れの際は、本書の「エアーフィルターのお手入れ」の項をお読みください。エアーフィルターが損傷したり、汚れがひどくて清掃しきれない場合は交換が必要です。本書の「仕様」の項に記載の交換用フィルターの型名をご確認のうえ、販売店またはサービス会社（「サービス会社一覧表」ご参照）にご連絡ください。

●エアーフィルターを外した状態で電源を入れないでください。

■キャビネット、リモコンのお手入れについて

誤った取り扱いは表面の変質や塗装がはがれる原因となることがあります。

お手入れは、ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布を水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞り、軽く拭いた後、別の乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。中性洗剤の原液は使用しないでください。

●ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
●スプレーは使用しないでください。
●ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
●化学ぞうきんのご使用については、その注意書に従ってください。

■強い光を避けてください

直射日光や照明などの強い光がリモコン受光部に当たると、リモコン操作が正常に働かない場合があります。

●光源は遠ざけてください。

■電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、画像が乱れたり、スピーカーから雑音を発生したりする原因となることがあります。

●携帯電話やトランシーバなどは本機から離れてご使用ください。

■映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投映装置です。投映面（スクリーンや壁）の特性により、画像の色あいやコントラストが、テレビやパソコンのCRTモニタとは異なることがあります。

●偏光スクリーンは使用しないでください。画面が赤味を帯びて見える場合があります。

■ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効（LCDとCRTの同時表示またはCRTの設定）にしてください。詳しくはパソコンの説明書をご覧ください。

■電源オン、電源オフの順序について

接続する機器のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合は、本機の電源オンは、コンピュータやビデオより先に、電源オフは、コンピュータやビデオより後に、行ってください。

■目の疲れにご注意ください

長時間のご使用は目が疲れる原因となります。ときどき画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量でご使用ください

隣近所へ十分配慮して、適度な音量で使用してください。特に夜間は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたり音量を下げたりして、生活環境を守りましょう。

取扱説明

このたびは、本機をお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保管してください。

お知らせ ・本書の内容は製品の仕様を含め改良のため予告なく変更することがあります。
・本書の運用結果については責任を負いかねますので予めご了承ください。
・本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。

商標について: PS/2、VGAおよびXGAはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。Apple、Macintosh、MacおよびADBはApple Computer, Inc.の登録商標です。VESAおよびSVGAはVideo Electronics Standard Associationの商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。その他の社名および商品名等は各社の商標または登録商標です。

もくじ

頁

お使いになる前に …… 2
特長 ……2
同梱品の確認 ……2
各部の名称 ……3
電池の入れかた ……5
設置 ……6
プロジェクターとスクリーンの設置 ……6
角度調節 ……6
ケーブル接続 ……7
電源接続 ……8
外部機器との接続例 ……8
プラグ&プレイ ……8
操作方法 ……9
電源オン ……9
電源オフ ……9
基本操作 ……10
映像メニュー …… 12
入力メニュー ……13
表示メニュー ……14
その他メニュー ……15
無信号時のメニュー ……16
お手入れ方法 ……17
ランプについて ……17
エアーフィルターについて ……19
その他のお手入れ ……19
故障かな?と思ったら ……20
OSDメッセージ ……20
インジケータランプ表示 ……21
故障と間違え易い現象 ……22

頁

仕様 …… 23
仕様一覧 ……23
外形寸法 ……24
信号入/出力端子ピン配置 ……24
コンピュータの信号例 ……25
初期設定信号 ……26
マウスコントロール ……27
RS-232C通信 ……28
保証とアフターサービスについて … 35
ユーザー登録のご案内 ……36
サービス会社一覧 ……37

表 目次
表1. 設置について ……6
表2. ケーブル接続 ……7
表3. 基本操作 ……10
表4. 映像メニュー ……12
表5. 入力メニュー ……13
表6. 表示メニュー ……14
表7. その他メニュー ……15
表8. 無信号時のメニュー ……16
表9. OSDメッセージ ……20
表10. インジケータランプ表示 ……21
表11. 故障と間違え易い現象 …… 22
表12. 仕様一覧 ……23
表13. 信号入/出力端子ピン配置 ……24
表14. コンピュータの信号例 ……25
表15. 初期設定信号 ……26
表16. RS-232C コマンド一覧 ……30
表17. サービス会社一覧表 ……37

お使いになる前に

特長

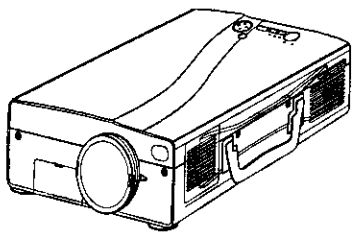
本機は、各種のコンピュータ信号およびNTSC/PAL SECAM方式のビデオ信号をスクリーンに映し出せる投射型液晶プロジェクターです。設置スペースをとらず、簡単に大画面が実現できます。

高輝度：UHBランプ、高効率光学系の採用により、高輝度を実現します。
拡大機能：お好みの部分を拡大表示できる「拡大」機能を装備しました。
台形歪み補正機能：歪みのない画像をすばやく再現できます。
騒音低減機能：プロジェクター使用時の騒音を低減することができます。

同梱品の確認

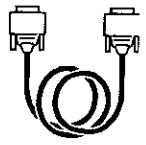
箱の中に、次のものが同梱されているかご確認ください。万一不足しているものがあれば、すぐに、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ　梱包材は、修理や引越しの時のために保管しておいてください。



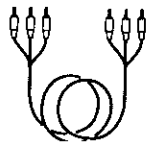
プロジェクター

電源コード

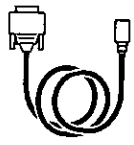


RGBケーブル

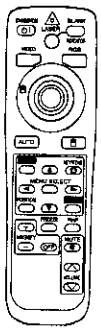
取扱説明書
（本書）



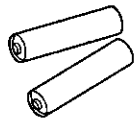
COMPONENT
VIDEOケーブル
（緑色ケーブルあり）



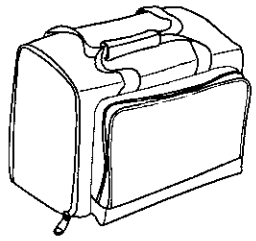
マウスケーブル
（PS/2）



リモコン送信機

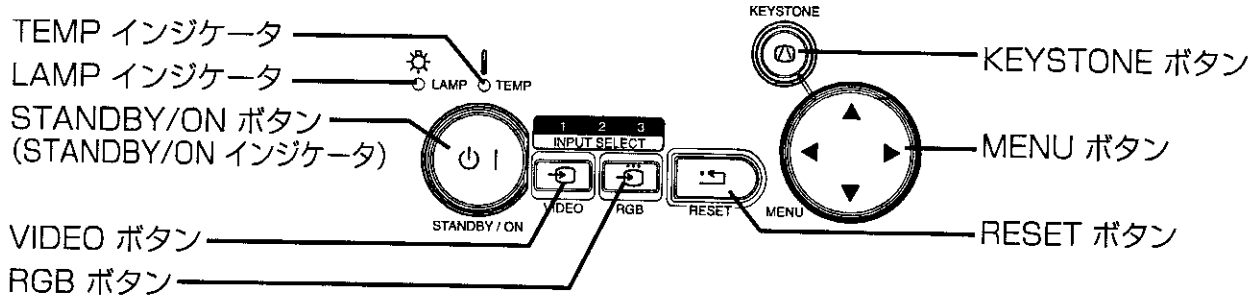


単3形乾電池×2
（リモコン送信機用）

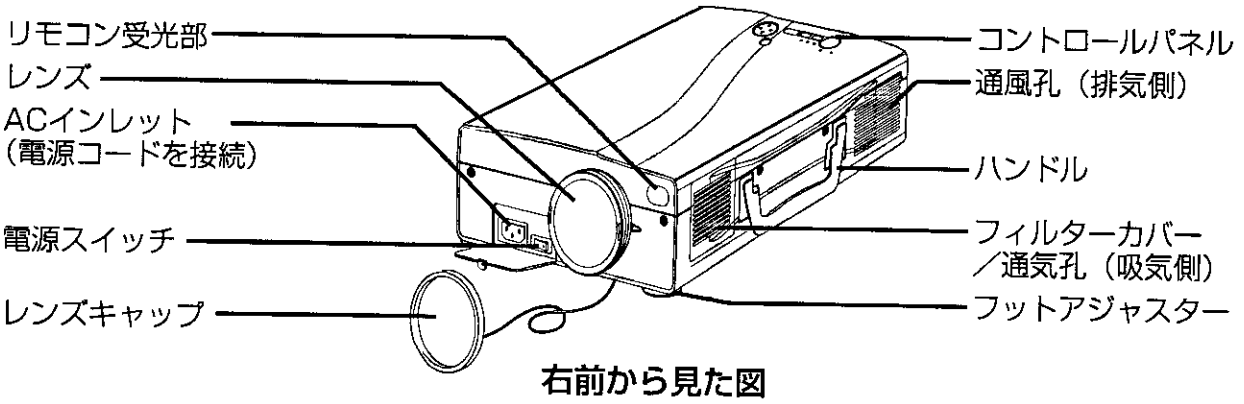


キャリングバッグ

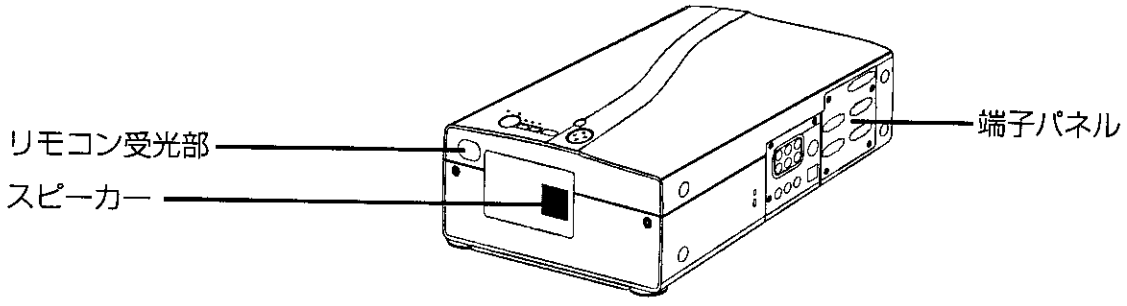
各部の名称



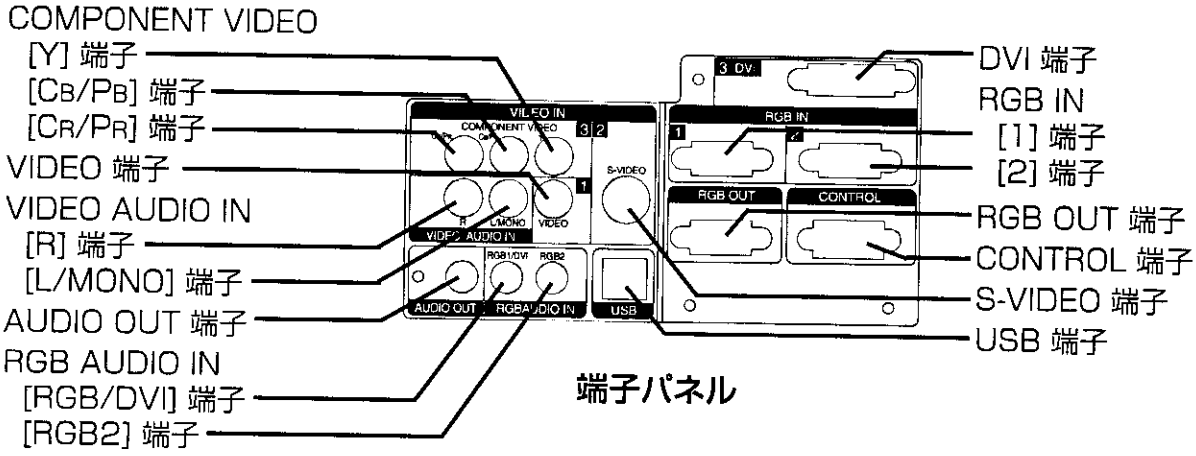
コントロールパネル（9頁「操作方法」ご参照）



右前から見た図

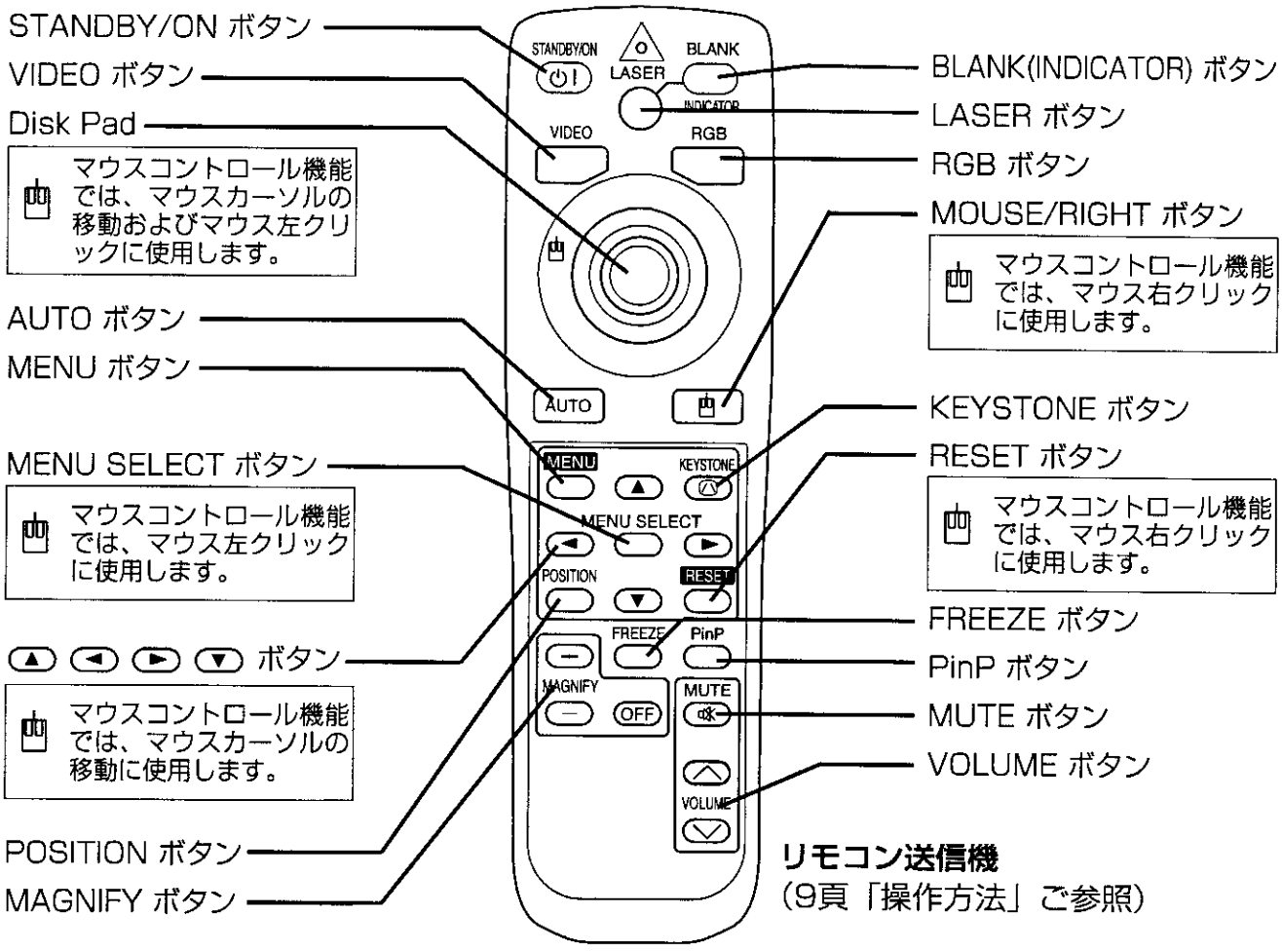


左後から見た図



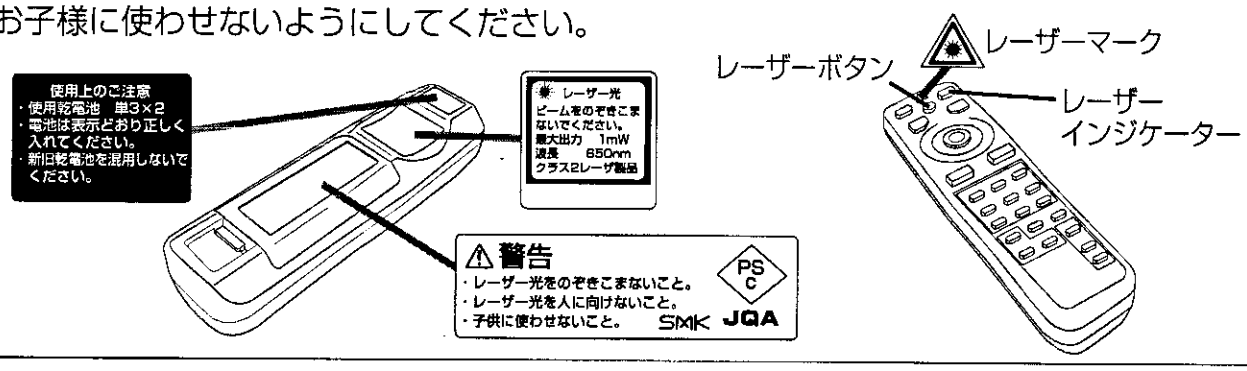
端子パネル

各部の名称（つづき）



このマークはマウスコントロール機能をご使用の場合のボタン機能を示します。（27頁「マウスコントロール」ご参照）但し、POSITION、BLANK ON、MENU ONのいずれかの機能をご使用中は、マウスコントロール機能が無効になりますのでご注意ください。

⚠警告 ●リモコン送信機のレーザーポインターは指し棒の代わりに使用するものです。レーザー光を直接覗きこんだり、他の人にレーザービームを向けたりしないでください。レーザービームが目にあたると視力障害などの原因となります。また、お子様に使わせないようにしてください。

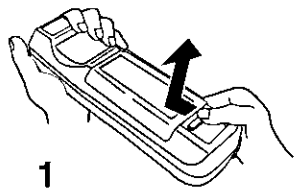


お守りください ・リモコン送信機に衝撃を与えたり落としたりしないでください。
・リモコン送信機に重い物を乗せないでください。
・リモコン送信機をぬらしたり、ぬれたところに置いたりしないでください。
・リモコン送信機を本機のレンズやファン、通風孔の近くに置かないでください。
・リモコン送信機を分解しないでください。修理は販売店またはサービス会社にご依頼ください。

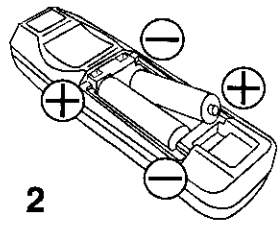
電池の入れかた

リモコン送信機に、単3形乾電池を2本入れます。電池は付属品または市販の単3形乾電池をご使用ください。

1. リモコン送信機の電池ぶたをはずします。
   電池ぶたのノブを押したまま上に持ち上げてください。
2. 電池を入れます。
   必ず ⊕、⊖ の表示を確認し、表示に合わせて電池を入れてください。
3. 電池ぶたを閉めます。



1



2

⚠注意 ●電池はお子様やペットの届かないところに保管してください。
●電池交換は指定のタイプの新しい（未使用）電池を使用してください。新しい電池とふるい電池を混ぜて使用しないでください。
●電池を入れるときはリモコン送信機の極性表示を確認し、⊕と⊖の向きに注意して正しく入れてください。
●電池を廃棄するときは、破棄を行う地域の法律や条令に従ってください。
●長時間ご使用にならないときは電池をリモコン送信機から取り出して保管してください。

お知らせ リモコン送信機の操作が利きにくくなったら、電池を交換してください。

設　置

プロジェクターとスクリーンの設置

下図および下表を参考に画面サイズと投映距離をきめてください。

a: フルサイズ（1365×1024ドット）のときの、
プロジェクターからスクリーンまでの距離（±10%）

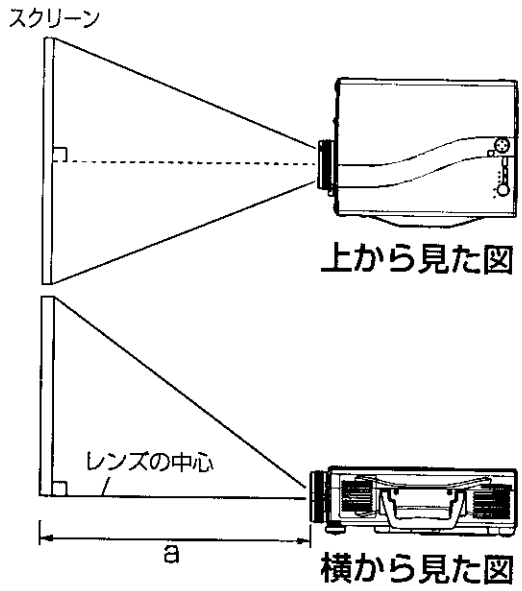


表1. 設置について

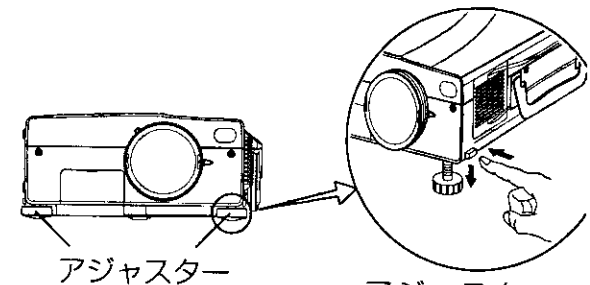
スクリーン サイズ[m(型)]	a[m]	
	最小	最大
1.0 (40)	1.6	2.2
1.5 (60)	2.5	3.2
2.0 (80)	3.3	4.3
2.5 (100)	4.2	5.4
3.0 (120)	5.0	6.5
3.8 (150)	6.2	8.1
5.0 (200)	8.3	10.8

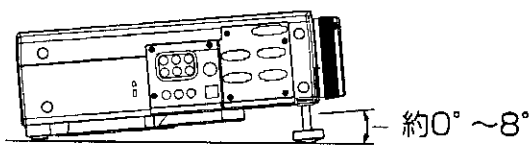
⚠注意 ●誤った設置や設置作業は火災やけがなどの原因となることがあります。本書の「使用上のご注意」をよくお読みになり、適切な場所へ正しく設置してください。
●別売の天つり金具を使用してプロジェクターを設置する場合には、「使用上のご注意」をよくお読みになり、販売店またはサービス会社にご相談ください。
●下記の「角度調節」の場合をのぞき、本機は水平にしてご使用ください。横向き、レンズの上向きや下向き、通風孔を塞ぐ置きかたでのご使用は火災、故障の原因となることがありますのでおやめください。
●煙草の煙は部品に悪い影響を及ぼし、故障や不具合の原因となることがあります。喫煙者の近くに置かないでください。

角度調節

底部のアジャスターを利用して、投映角度を調節してください。約0°～8°の範囲で調節できます。

1. 本機の前側を持ち上げ、アジャスターボタンを押しながら角度を調節してください。
2. アジャスターボタンを離してアジャスターを固定してください。
3. アジャスターをねじのように回すと微調節することができます。必要に応じて調節してください。





⚠注意 ●本機を保持しないでアジャスターボタンを押すと、本機が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。アジャスターボタンは必ず本機を持った状態で押してください。

ケーブル接続

下表に従って、本機の各接続端子と他の機器との接続を行ってください。

表2. ケーブル接続

機　能	プロジェクターの端子	接続ケーブル
アナログRGB入力	RGB IN [1]	RGBケーブル（Dサブ15ピンシュリンク、インチネジ付）（付属/別売）
	RGB IN [2]	
アナログRGB出力	RGB OUT	
DVI入力	DVI	DVIケーブル（インチネジ付）（別売）
コンピュータからの音声入力	RGB AUDIO IN [RGB1/DVI]	オーディオケーブル（ステレオミニ）（別売）
	RGB AUDIO IN [RGB2]	
PS/2 マウスコントロール	CONTROL	PS/2 マウスケーブル（付属）
ADB マウスコントロール		ADB マウスケーブル（別売）
シリアルマウスコントロール		シリアルマウスケーブル（別売）
RS-232C 通信		RS-232Cケーブル（別売）
USB マウスコントロール	USB	USBケーブル（別売）
S ビデオ入力	S-VIDEO	S-VIDEOケーブル（ミニDIN4ピン）（別売）
ビデオ入力	VIDEO	AUDIO/VIDEOケーブル（別売）
コンポーネントビデオ入力	COMPONENT VIDEO [Y]	COMPONENT VIDEO ケーブル（付属）
	COMPONENT VIDEO [C_B/P_B]	
	COMPONENT VIDEO [C_R/P_R]	
ビデオ装置からの音声入力	VIDEO AUDIO IN [R]	AUDIO/VIDEOケーブル（別売）またはオーディオケーブル（RCAジャック）（別売）
	VIDEO AUDIO IN [L/MONO]	
音声出力	AUDIO OUT	オーディオケーブル（ステレオミニ）（別売）

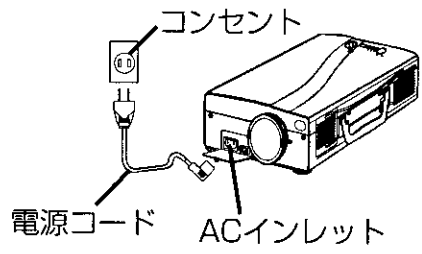
⚠注意 ●誤った接続は火災、感電などの原因となることがあります。本書の「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しく接続してください。
●接続作業は接続する全ての機器の電源を切ってから行ってください。
●接続ケーブルは付属または所定のものをご使用ください。片端にだけコアが付いているケーブルは、コア側をプロジェクターに接続してください。

お知らせ
・接続のまえに、接続する機器の説明書をお読みになり、本機の仕様と合うことをご確認ください。
・Dサブコネクタの接続はネジをしめて固定してください。
・Appleコンピュータとの接続には別売のMacアダプターが必要です。
・デジタルRGB入力にはコンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの説明書をご覧ください。
・コンピュータが複数の表示モードを持っている場合には、本機が対応できないモードが含まれる場合があります。
・本機の各端子のピン配置やRS-232C通信コマンドについては「仕様」の項をご覧ください。
・DVI端子の使用中はRGB OUT端子が機能しないことがあります。

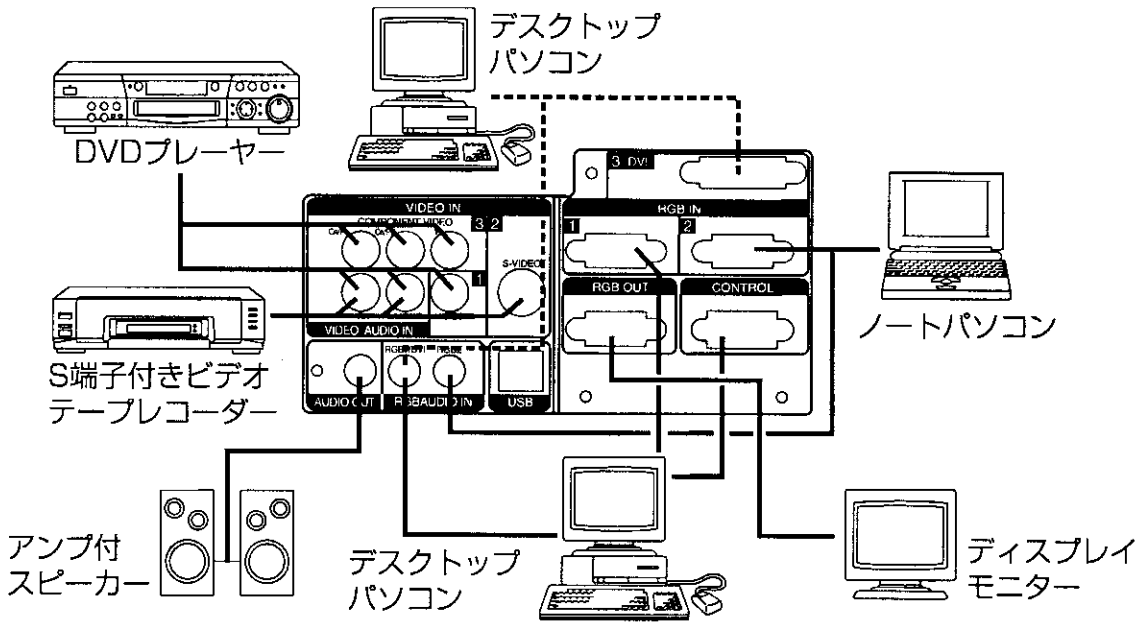
電源接続

コンセントは必ず指定の電源電圧（AC100V）であることを確認してご使用ください。本機の電源スイッチがオフ（「○」側が押されている状態）になっているのを確認して、本機のACインレットとコンセントを接続します。電源コードは付属品をご使用ください。

⚠警告 ●付属の電源コードを使用し、ACインレットの根元まで確実に差し込んでください。不完全な接続は感電や火災の原因となります。「使用上のご注意」をよくお読みのうえ接続を行ってください。



外部機器との接続例



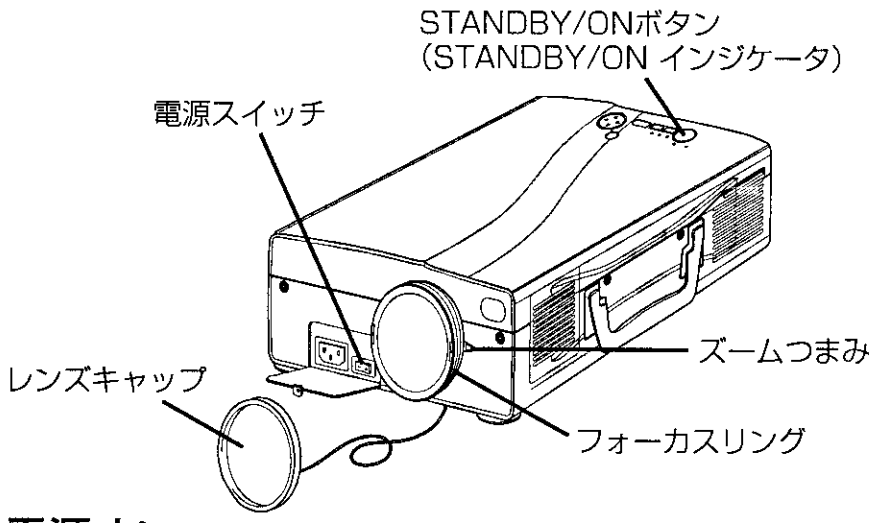
お知らせ ・ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効に（LCDとCRT同時表示、またはCRT表示に設定）してください。詳しくはパソコンの説明書をご覧ください。

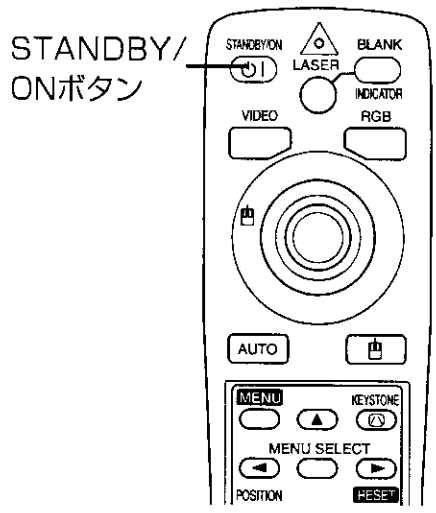
プラグ&プレイ

本機はVESA DDC 1/2Bに対応しています。VESA DDC（Display Data Channel）に対応のコンピュータに接続して使用すると、プラグ&プレイを実現できます。
プラグ&プレイ機能をご使用になる場合は、本機のRGB IN [1]端子（DDC 1/2B対応）とコンピュータを付属のRGBケーブルで接続するか、本機のDVI端子（DDC2B対応）とコンピュータを別売のDVIケーブルで接続してください。その他の端子やケーブルにより接続ではプラグ&プレイは機能しない場合があります。

お知らせ ・プラグ&プレイは、コンピュータと、表示装置を含む周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。
・本機は「プラグ&プレイモニタ」として認識されます。この際、ディスプレイドライバは標準のものをご使用ください。
・接続するコンピュータによっては、プラグ&プレイが動作しない場合があります。プラグ&プレイが正常に動作しない場合には、RGB IN [2]端子をご使用ください。

操作方法





電源オン

1. 電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
2. 電源スイッチの「I」（入れる）側を押してください。スタンバイモードが設定されてSTANDBY/ONインジケータが橙色に点灯します。
3. コントロールパネルまたはリモコン送信機のSTANDBY/ON⏻ボタンを押してください。ウォームアップが開始されてSTANDBY/ONインジケータは緑色に点滅します。
4. 電源オンが完了するとSTANDBY/ONインジケータは点滅をやめ、緑色に点灯します。レンズキャップを外してください。
5. ズームつまみをまわして画面サイズを調節してください。
6. フォーカスリングをまわしてフォーカスを合わせてください。

電源オフ

1. コントロールパネルまたはリモコン送信機のSTANDBY/ON⏻ボタンを押すと、「電源を切りますか？」の確認メッセージが約5秒間表示されます。このメッセージの表示中にもう一度STANDBY/ON⏻ボタンを押してください。ランプが消え、ランプの冷却が開始されます。冷却中はSTANDBY/ONインジケータが橙色に点滅し、この状態ではSTANDBY/ON⏻ボタンを押しても無効です。
2. ランプ冷却が完了するとスタンバイモードが設定され、STANDBY/ONインジケータは点滅をやめて橙色に点灯します。これを確認して、電源スイッチの「○」（切る）側を押してください。
3. 電源オフが完了するとSTANDBY/ONインジケータが消えます。レンズキャップを取り付けてください。
   レンズキャップは2つのつまみを指で押さえ、つまみ部分をレンズ側のつまみ取り付け位置に合わせて取り付けてください。

⚠警告 ●ご使用のまえには必ず本書の「使用上のご注意」をよくお読みになり、安全に注意してご使用ください。

お知らせ ・STANDBY/ONインジケータが緑色のときや点滅中に電源スイッチを切るとランプや液晶パネルの寿命を縮めますので、非常時以外はおやめください。

・コンピュータやビデオ装置のトラブルを防ぐため、本機の電源オン/オフはコンピュータやビデオ装置の電源が切れている状態で行ってください。ただし、RS-232Cケーブルを接続している場合は、本機よりも先にコンピュータの電源を入れてください。

・同一映像を長時間投映すると、その映像が残像として残ることがあります。同一映像を長時間投映しないでください。

基本操作

表3に示す基本操作は、付属のリモコン送信機やプロジェクターのコントロールパネルによって簡単に行うことができます。（※）の項目はコントロールパネルで操作できます。

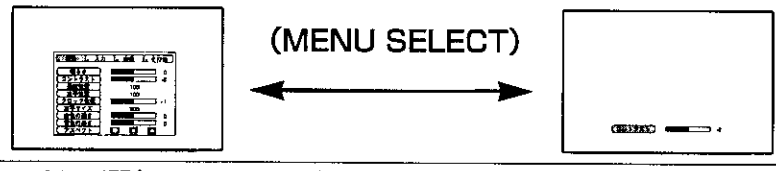
表3. 基本操作

項 目	操 作 内 容
入力切り換え（※）	**RGB入力の選択**：RGBボタンを押す。 VIDEO/S-VIDEO/COMPONENT ⇒ RGB IN [1]/RGB IN [2]/DVI RGB IN [1] ⇒ RGB IN [2] ⇒ DVI （⇒ RGB IN [1]） **ビデオ入力の選択**：VIDEOボタンを押す。 RGB IN [1]/RGB IN [2]/DVI ⇒ VIDEO/S-VIDEO/COMPONENT VIDEO ⇒ S-VIDEO ⇒ COMPONENT VIDEO （⇒ VIDEO） ・入力信号が変化すると、選択された信号名が約3秒間表示されます。
位置調節	**位置調節モードの設定/解除**：POSITIONボタンを押す。 位置調節モードではアイコン[🗗]が表示されます。 **画像位置の調節**：位置調節モードで◀,▶,▲,▼ ボタンを押す。 ・本機能は、ビデオ入力では拡大モードでのみ有効です。 ・位置調節モードは、何も操作を行わない状態で約10秒経過すると自動的に解除され、アイコン[🗗]も消えます。
リセット（※）	**項目別初期化**：メニューで項目を選択し、RESETボタンを押す。 **位置調節の初期化**：位置調節モード（上記）でRESETボタンを押す。 ・本機能は、RGB入力でのみ有効です。 ・「音量」「言語選択」「クロック位相」「静音」は初期化されません。 ・RESETボタンはマウスコントロール機能にも使用します。（4頁ご参照）
拡大	**拡大モードの設定**：MAGNIFY⊕ボタンを押す。 **拡大領域の移動**：拡大モードで「位置調節」（上記）の操作を行う。 **拡大倍率の調節**：拡大モードでMAGNIFY⊕/⊖を押す。 **拡大モードの解除**：MAGNIFY OFF ボタンを押す。 ・拡大モードでは「入力切り換え」「オートアジャスト」「アスペクト」「VIDEO」のいずれかの操作、または入力信号の変化によって自動的に解除されます。
静止	**静止モードの設定/解除**：FREEZEボタンを押す。 静止モードではアイコン[❚❚]が表示され、画像が静止します。 ・「位置調節」「音量」「消音」「オートアジャスト」「ブランクオン/オフ」「メニューオン/オフ」「キーストン補正」のいずれかの操作、または入力信号の変化によって自動的に解除されます。 ・静止画を表示中に静止モードを設定した場合は解除を忘れないようにご注意ください。
音量	**音量の調節**：VOLOME △/▽ボタンを押す。 音量を小さく▽ ⇔ △音量を大きく

お知らせ　・リモコン送信機は本機の受光部からの距離約5m以内、左30°、右30°の範囲でご使用ください。強い光や障害物は操作の妨げとなることがありますのでご注意ください。

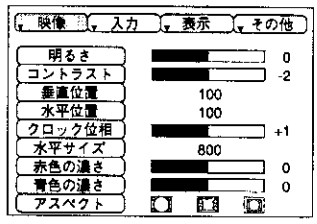
（※）の項目はコントロールパネルで操作できます。

表3. 基本操作（つづき）

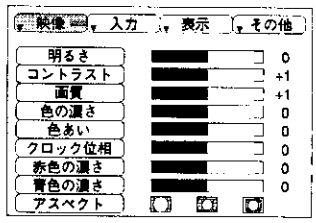
項目	操作内容
消音	**消音モードの設定/解除**：MUTEボタンを押す。 消音モードでは音声が消去されます。
オート アジャスト	**RGB入力時の自動調整**：AUTOボタンを押す。 「水平位置」「垂直位置」「クロック位相」「水平サイズ」が自動調整されます。アプリケーション表示では、ウィンドウを最大表示した状態で実行してください。 **ビデオ入力時の自動調整**：AUTOボタンを押す。 信号方式が自動選択されます。入力メニューの「VIDEO」が「AUTO」に設定されているときのみ有効です。 ・自動調整には10秒程度の時間がかかります。また入力信号によっては正しく機能しない場合があります。
ブランク オン/オフ	**ブランクモードの設定/解除**：BLANKボタンを押す。 ブランクモードでは画像が消去され、画面全体が表示メニューの「ブランク」で設定された色になります。
メニュー オン/オフ	**メニュー表示の開始/終了**：MENUボタンを押す。 ・何も操作を行わない状態で約10秒経過するとメニュー表示は自動的に終了します。
メニュー 切り換え	**メニュータイプの切り換え**：映像メニューで項目を選択し、MENU SELECTボタンを押す。 通常のメニューとシングルメニューを交互に切り換えます。シングルメニューでは選択中の項目だけが表示されますが、通常のメニューと同様に▲/▼ボタンで別の項目へ移行することができます。 ・本機能は映像メニューの表示中のみ有効です。「明るさ」などの項目を選択してからMENU SELECTボタンを押してください。 ・MENU SELECTボタンはマウスコントロール機能にも使用します。（4頁ご参照） 通常メニュー　(MENU SELECT)　シングルメニュー 
P.IN P. モード	**P.IN P.モードの選択**：RGB入力時、PinPボタンを押す。 小表示モード ⇒ 大表示モード ⇒ P.IN P.オフ（⇒ 小表示モード） ・P.IN P.（ピクチャーインピクチャー）機能はRGB入力の表示中、ビデオ入力の子画面を表示します。小画面のビデオ入力は前回と同じモードが自動選択されます。
キーストン 補正（※）	**キーストンモードの設定/解除**：KEYSTONE△ボタンを押す。 **台形歪調節モードの選択**：キーストンモードで◀/▶ボタンを押す。 垂直モード◀ ⇔ ▶水平モード **垂直台形歪の調節**：キーストンモードで垂直モードを選択し、◀/▶ボタンを押す。 画面下部を小さく◀ ⇔ ▶画面上部を小さく **水平台形歪の調節**：キーストンモードで水平モードを選択し、◀/▶ボタンを押す。 画面左部を小さく◀ ⇔ ▶画面右部を小さく ・入力信号によっては、本機能を操作すると画像が正常表示されない場合があります。

映像メニュー

メニュー上部の「映像」を選択すると、下表の調節や設定を行うことができます。映像メニューは入力によって内容が一部異なります。▲/▼ボタンで項目を選択してから操作を開始してください。メニュー表示を小さくしたい場合はシングルメニューをご使用ください。（表3「メニュー切り換え」ご参照）



RGB IN [1]/[2]
DVI



VIDEO
S-VIDEO
COMPONENT

表4. 映像メニュー

項目	操作内容	RGB IN [1]/[2]	DVI	VIDEO S-VIDEO COMPONENT VIDEO
明るさ	**調節**：暗く◀ ⇔ ▶明るく	✔	✔	✔
コントラスト	**調節**：弱く◀ ⇔ ▶強く	✔	✔	✔
垂直位置	**調節**：下に◀ ⇔ ▶上に	✔	-	-
水平位置	**調節**：左に◀ ⇔ ▶右に	✔	-	-
クロック位相	**調節**：左に◀ ⇔ ▶右に ・ちらつきが無くなるように調節してください。	✔	-	✔
水平サイズ	**調節**：小さく◀ ⇔ ▶大きく ・水平サイズを過大に調節すると画像が正常に表示されなくなることがあります。この場合はRESETボタンを押して、水平サイズを初期化してください。	✔	-	-
画質	**調節**：やわらかく◀ ⇔ ▶くっきり	-	-	✔
色の濃さ	**調節**：淡く◀ ⇔ ▶濃く	-	-	✔
色あい	**調節**：赤っぽく◀ ⇔ ▶緑っぽく	-	-	✔
赤色の濃さ	**調節**：淡く◀ ⇔ ▶濃く	✔	✔	✔
青色の濃さ	**調節**：淡く◀ ⇔ ▶濃く	✔	✔	✔
アスペクト	**画像の縦横比を選択**： フル[▭]◀ ⇔ ▶16:9[▭]◀ ⇔ ▶リアル[▭] **16:9表示の質選択**：16:9[▭]を選択中に▼ボタンを押す。 中心 ⇒ ▼下 ⇒ ▼上 (⇒ ▼中心)	✔	✔	-
	画像の縦横比を選択： 4:3[▭]◀ ⇔ ▶16:9[▭]◀ ⇔ ▶4:3 small[▭] **16:9/4:3 small表示の質選択**：16:9[▭]または4:3 small[▭]を選択中に▼ボタンを押す。 中心 ⇒ ▼下 ⇒ ▼上 (⇒ ▼中心) ・入力信号によっては4:3smallを正常に表示できない場合があります。	-	-	✔

入力メニュー

メニュー上部の「入力」を選択すると、下表の機能を操作することができます。▲/▼ボタンで項目を選び、►/◄ボタンで操作を開始/終了します。

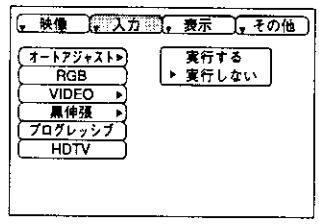


表5. 入力メニュー

項目	操作内容
オート アジャスト	**RGB入力時の自動調整**：▲ボタンで「実行する」を選択する。 「水平位置」「垂直位置」「クロック位相」「水平サイズ」が自動調整されます。アプリケーション表示では、ウィンドウを最大表示した状態で実行してください。 **ビデオ入力時の自動調整**：▲ボタンで「実行する」を選択する。 信号方式が自動選択されます。入力メニューの「VIDEO」が「AUTO」に設定されているときのみ有効です。 ・自動調整には10秒程度の時間がかかります。また入力信号によっては正しく機能しないことがありますが、このときAUTOボタンを押すと修正される場合もあります。 ・本機能の内容は基本機能の「オートアジャスト」と同様です。
RGB	**RGB入力の周波数表示**：自動表示（項目選択により表示される。） RGB入力信号の水平および垂直同期信号周波数を表示します。 ・RGB入力でのみ有効です。
VIDEO	**ビデオ信号方式の選択**：ビデオ入力時、▲/▼ボタンで選択する。 AUTO ▲⇔▼ NTSC ▲⇔▼ PAL ▲⇔▼ SECAM ▲⇔▼ NTSC4.43 ▲⇔▼ M-PAL ▲⇔▼ N-PAL 「AUTO」を選択すると「ビデオ入力時の自動調整（オートアジャスト）」が有効になり、同時に実行されて信号方式（N-PALを除く）が自動選択されます。 ・ビデオ入力の画像が不安定な場合（画像が乱れる、色がつかない、など）は信号方式を選択し直してください。 ・自動調整には10秒程度の時間がかかります。また入力信号によっては正しく機能しない場合がありますが、このときAUTOボタンを押すと修正される場合もあります。(N-PALを除く) ・COMPONENT VIDEO入力では信号タイプを自動的に識別、設定し、本機能は無効です。
黒伸張	**黒伸張モードの設定/解除**：ビデオ入力時、▲/▼ボタンで選択する。 TURN ON ▲⇔▼ TURN OFF 「TURN ON」を選択すると黒伸張モードが設定され、画像の黒レベルが落ちてコントラストが上がります。
プログレッシブ	**プログレッシブモードの選択**：ビデオ入力時、▲/▼ボタンで選択する。 TV ⇔ FILM ⇔ オフ TVモード、FILMモードでは、HDTV以外のインターレースのビデオ信号をI/P変換して解像度を向上します。FILMモードは2-3Pull-Downシステムにも対応します。
HDTV	**HDTVモードの選択**：▲/▼ボタンで選択する。 1080i ▲⇔▼ 1035i ・入力信号に適切でないHDTVモードが選択されると、画像が正常表示されない場合があります。

表示メニュー

メニュー上部の「表示」を選択すると、下表の機能を操作することができます。▲/▼ボタンで項目を選択し、►/◄ボタンで操作を開始/終了してください。

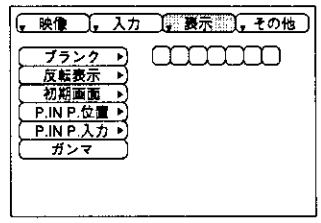


表6. 表示メニュー

項目	操作内容
ブランク	**ブランク画面色の選択**：►/◄ボタンで色を選択する。 ブランクオン（11頁ご参照）操作でブランクオンモード設定されたときや無信号（信号入力が無い、または本機の仕様外の信号入力）の状態が5分以上続いたときには、画面全体が本機能で指定された色になります。
反転表示	**反転モードの選択**：▲/▼ボタンで選択する。 通常表示▲⇔▼左右反転▲⇔▼上下反転▲⇔▼上下左右反転
初期画面	**初期画面表示の設定/解除**：▲/▼ボタンで選択する。 表示する▲⇔▼表示しない ・本機能で「表示しない」が選択されていると、無信号（信号入力が無い、または本機の仕様外の信号入力）のときの画面は青色になります。
P.IN P.位置	**P.IN P.表示位置の選択**：▲/▼ボタンで選択する。 ▲⇔▼ ▲⇔▼ ▲⇔▼ P.IN P.モード（11頁ご参照）でSmallまたはLargeが選択され、子画面が表示されているときの、子画面の表示位置を選択します。
P.IN P.入力	**P.IN P.入力の選択**：▲/▼ボタンで選択する。 VIDEO▲⇔▼S-VIDEO▲⇔▼COMPONENT P.IN P.モード（11頁ご参照）でSmallまたはLargeが選択され、子画面が表示されているときの、子画面の表示信号を選択します。
ガンマ	**ガンマモードの選択**：▲/▼ボタンで選択する。 ノーマル▲⇔▼シネマ▲⇔▼ダイナミック

その他メニュー

メニュー上部の「その他」を選択すると、下表の機能を操作することができます。▲/▼ボタンで項目を選択し、►/◄ボタンで操作を開始/終了してください。

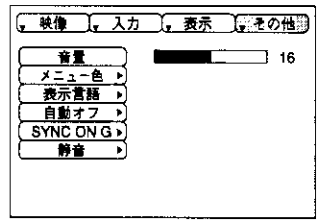


表7. その他メニュー

項目	操作内容
音量	**音量の調節**：小さく◄ ⇔ ►大きく
メニュー色	**メニュー背景色の選択**：►/◄ボタンで色を選択する。
表示言語	**メニュー言語の選択**：▲/▼ボタンで言語を選択する。
自動オフ	**自動オフモードの設定/解除**：▲/▼ボタンで時間（1～99分）を設定、または停止（0分）を選択する。 設定した時間だけ無信号（入力信号が検出されない）状態が継続すると、自動的にスタンバイモード（9頁ご参照）が設定されます。 0分（停止）を選択すると自動オフモードが解除され、無信号時もスタンバイモードが自動的に設定されることはありません。
SYNC ON G	**SYNC ON Gの有効化/無効化**：▲/▼ボタンで「有効」/「無効」を選択する。 ・SYNC ON Gが「有効」のとき、入力信号によっては正常表示されない場合があります。この場合は、いったん信号コネクタを外して無信号の状態にし、SYNC ON Gを「無効」にしてから信号を再入力してください。
静音	**静音モードの設定/解除**：▲/▼ボタンで「標準モード」/「静音モード」を選択する。 ・静音モードを選択すると、プロジェクターが動作中に発生する騒音を低減することができます。画像の明るさもやや抑えられます。

無信号時のメニュー

無信号（信号入力が無い、または本機の仕様外の信号入力）のとき、「～に信号が入力されていません」または「～の信号は同期範囲外です」のメッセージ表示中にMENUボタンを押すと、下表の調節や設定を、表示メニューやその他メニューと同様に行うことができます。▲/▼ボタンで項目を選択して、◀/▶ボタンで操作を開始してください。

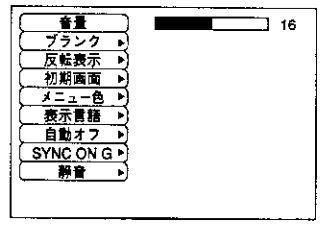


表8. 無信号時のメニュー

項 目	操 作 内 容
音量	**音量の調節**：小さく ◀ ⇔ ▶ 大きく ・本機能を使用すると自動的にビデオの音声入力が選択されますが、音量の調節バーの表示中にリモコン送信機のDISK PADを左右に操作すると、音声入力を切り換えることができます。音量の調節バーはVOLUME▶/◀ボタンを押すと表示することができます。
ブランク	**ブランク画面色の選択**：▶/◀ボタンで色を選択する。 ブランクオン（11頁ご参照）操作でブランクオンモード設定されたときや無信号（信号入力が無い、または本機の仕様外の信号入力）の状態が5分以上続いたときには、画面全体が本機能で指定された色になります。
反転表示	**反転モードの選択**：▲/▼ボタンで選択する。 通常表示▲⇔▼左右反転▲⇔▼上下反転▲⇔▼上下左右反転
初期画面	**初期画面表示の設定/解除**：▲/▼ボタンで選択する。 表示する▲⇔▼表示しない ・本機能で「表示しない」が選択されていると、無信号（入力信号が検出されない）のときの画面は青色になります。
メニュー色	**メニュー背景色の選択**：▶/◀ボタンで色を選択する。
表示言語	**メニュー言語の選択**：▲/▼ボタンで言語を選択する。
自動オフ	**自動オフモードの設定/解除**：▲/▼ボタンで時間（1～99分）を設定、または停止（0分）を選択する。 設定した時間だけ無信号（入力信号が検出されない）状態が継続すると、自動的にスタンバイモード（9頁ご参照）が設定されます。 0分（停止）を選択すると自動オフモードが解除され、無信号時もスタンバイモードが自動的に設定されることはありません。
SYNC ON G	**SYNC ON Gの有効化/無効化**：▲/▼ボタンで「有効」/「無効」を選択する。 ・SYNC ON Gが「有効」のとき、入力信号によっては正常表示されない場合があります。この場合は、いったん信号コネクタを外して無信号の状態にし、SYNC ON Gを「無効」にしてから信号を再入力してください。
静音	**静音モードの設定/解除**：▲/▼ボタンで「標準モード」/「静音モード」を選択する。 ・静音モードを選択すると、プロジェクターが動作中に発生する騒音を低減することができます。画像の明るさもやや抑えられます。

お手入れ方法

ランプについて

感電注意
高温注意
破裂注意

ランプ交換の際は、別売の交換用ランプの型名（23頁、表12の「別売品」ご参照）をご確認のうえ、必ず販売店にご連絡ください。
ランプ交換のまえには、必ず電源をオフにして電源コードを抜き、45分以上待ってランプを十分冷ましてください。高温状態での取り扱いは火傷や破裂の原因となります。

⚠警告 本液晶プロジェクターに使用のランプはガラス製で、内部圧力の高い水銀ランプです。高圧水銀ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命が尽きたりする特性があります。ランプはそれぞれのランプによって寿命に大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。また、ランプが破裂すると、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスがプロジェクターの通風孔から出たりすることがあります。

●ランプに衝撃を加えたり傷つけたりしますと、使用中に破裂する場合がありますので、ていねいに取り扱ってください。

●ランプは長時間ご使用になったり、交換時期を越えてご使用になると、破裂する可能性が高くなります。ランプ交換の指示（20頁の表9、21頁の表10 ご参照）が出た場合はこれに従って、お早めにランプ交換を行ってください。古いランプ（ご使用済み）の再利用はランプの破裂の原因となりますのでおやめください。

●ランプがご使用開始後短時間で破裂した場合は、ランプ以外の電気的障害をともなっている場合があります。このような場合は販売店またはサービス会社にご相談ください。

●万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は換気を十分にして、プロジェクターの通風孔から排出されるガスを吸い込んだり、目や口に入ったりしないようにご注意ください。

●万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にランプ交換をご依頼ください。飛び散ったガラス片によってプロジェクター内部を傷つけたり、取り扱い時にけがの原因となることがありますので、お客様による清掃やランプ交換はおやめください。

●使用済みランプの廃棄については、廃棄を行う地域の条例や規則に従ってください。一般的にはガラスやビンと同類として扱われる場合が多いですが、ランプなどを分別収集の対象にしているところもありますのでご注意ください。

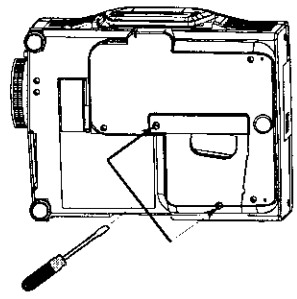
●ランプカバーを外した状態ではご使用にならないでください。

ランプ交換の目安：プロジェクターのランプには寿命があり、長時間使用すると映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりします。お早目の交換をお勧めします。LAMPインジケータが赤色に点灯したり、電源オン時に「ランプを交換してください。」などのメッセージが表示された場合は交換が必要です。20頁の表9および21頁の表10をご覧ください。

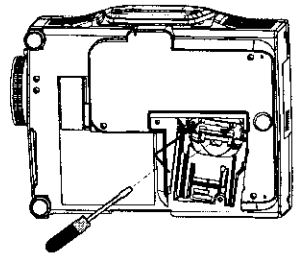
お知らせ ・LAMPインジケータは、ランプ部が高温になった場合にも赤色に点灯します。ランプを交換するまえに、電源をオフして20分程度おき、再び電源をオンにしてください。再びLAMPインジケータが赤色に点灯した場合はランプの交換が必要です。

ランプについて（つづき）

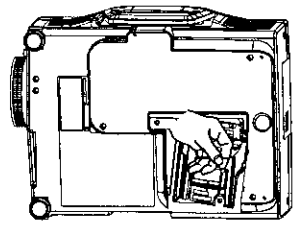
ランプの交換方法



1. プロジェクターの電源をオフにして電源コードを抜き、45分以上おいて冷ましてください。
2. 新しいランプ（指定のもの）を準備してください。
3. プロジェクターが十分冷めたのを確認し、底面が上になるように静かに裏返して置いてください。
4. 図のようにして2本のネジをゆるめ、ランプカバーを外してください。



5. さらに、2本のネジをゆるめて取っ手部分を持って静かにランプを取り外します。ランプケースの内部に触れないようにご注意ください。
6. 新しいランプを取り付け、2本のネジをしっかりと止めて固定してください。ネジの反対側もしっかりと押さえ込んでください。
7. ランプカバーをもとのように取り付け、2本のネジをしっかり止めて固定してください。
8. プロジェクターの上面が上になるように、静かに置きなおしてください。



お守りください　・ネジ止めはしっかりと確実に行ってください。不完全なネジ止めはけがや故障の原因となることがあります。
・ランプカバーを外した状態ではご使用にならないでください。

ランプタイマーのリセット

ランプ交換後は必ずランプタイマーのリセットを行ってください。「0時間後に電源を切ります。」のようなメッセージが表示された後に交換を行った場合は、電源オンから10分以内に以下の作業を完了してください。10分を超えると電源が自動的にオフになります。

1. 電源をオンにして、RESETボタンを約3秒間押してください。画面下部に「LAMP xxxx hr」のようなランプタイマー表示が現れます。
2. ランプタイマーが表示されている間に、リモコン送信機のMENUボタンまたはコントロールパネルのRESETボタンを押してください。「LAMP xxxx □→■CANCEL」の表示が現れます。
3. ◀ボタンを押して「0」を選び、タイマー表示が消えるのを待ってください。

お守りください　ランプを交換せずにランプタイマーをリセットしないでください。また、ランプ交換時には必ずリセットしてください。ランプタイマーが正しくリセットされないとメッセージなどの機能が正しく働きませんのでご注意ください。
・別売の交換用ランプには交換用エアーフィルターが添付されています。(23項、表12の「別売品」ご参照)

エアーフィルターについて

エアーフィルターの交換方法：エアーフィルターの汚れが落ちなくなったり破損した場合は、交換が必要です。別売の交換用エアーフィルターの型名（23頁、表12の「別売品」ご参照）をご確認のうえ販売店にご連絡ください。

1. フィルターカバーを外してください。
2. フィルターケースから古いフィルターを取り出してください。
3. フィルターケースへ新しいフィルターを入れてください。フィルターの左右の端を指で押して、フィルターとフィルターケースの縁が平らになるように、きちんと入れてください。
4. フィルターカバーを取り付けてください。

エアーフィルターのお手入れ：エアーフィルターは、約300時間を目安に、掃除を行ってください。

1. プロジェクターの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。
2. エアーフィルター部をフィルターカバーの上から掃除機で掃除してください。

⚠注意 ●お手入れのまえには必ず電源をオフにし、電源コードを抜いてください。本書の「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しい方法でお手入れしてください。
●エアーフィルターを外した状態で本機をご使用にならないでください。
●ほこりなどによりエアーフィルターがつまりますと、プロジェクター内部の温度上昇を防ぐために自動的に電源がオフになることがあります。

その他のお手入れ

内部のお手入れ：安全なご使用のため、2年に1度を目安に、販売店へ清掃・点検をご依頼ください。ご自分での内部にお手入れは危険ですから絶対におやめください。

レンズのお手入れ：市販のレンズクリーニングペーパーで軽く拭いてください。レンズには直接手を触れないでください。

キャビネット、リモコン送信機のお手入れ：ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、軽く拭いてください。さらに、乾いた柔らかい布で軽く拭いて仕上げてください。

⚠注意 ●お手入れのまえには必ず電源をオフにし、電源コードを抜いてください。本書の「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しい方法でお手入れしてください。
●ベンジンやシンナーなど上記以外の洗剤や薬品はご使用にならないでください。
●スプレーはご使用にならないでください。
●硬いもので擦ったり、叩いたりしないでください。

故障かな？と思ったら

OSDメッセージ

本機では電源オン時、下表のようなメッセージを表示することがあります。画面上にメッセージが現れたら、下表に従って対処してください。

表9. OSDメッセージ

メッセージ	内 容
ランプを交換して下さい。 ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 (※)	ランプ使用時間が1300時間を超え、寿命に近づいています。 ランプの使用時間が寿命に達すると、自動的に電源がオフされます。新しいランプの準備と早めの交換をお勧めします。ランプ交換後は必ずランプタイマーをリセットしてください。
ランプを交換して下さい。 ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 ＊＊時間後に 電源を切ります。 (※)	ランプの使用時間が寿命に達するまで、あと＊＊時間です。 あと＊＊時間使用すると、自動的に電源がオフされます。17～18頁「ランプについて」に従ってランプを交換してください。ランプ交換後は必ずランプタイマーをリセットしてください。
ランプを交換して下さい。 ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 0時間後に電源を切ります。	ランプの使用時間が寿命に達しましたので、まもなく電源が自動オフされます。 あと＊＊時間使用すると、自動的に電源がオフされます。17～18頁「ランプについて」に従ってランプを交換してください。ランプ交換後は必ずランプタイマーをリセットしてください。
＊＊ に信号が入力されていません	入力信号がみつかりません。 信号入力の接続や信号源の状態をご確認ください。
＊＊の信号は同期範囲外です	入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。 本機および信号源の仕様をご確認ください。

お知らせ (※)このメッセージは約3分で自動消去しますが、電源オンごとに再現します。

インジケータランプ表示

POWERインジケータ、LAMPインジケータ、TEMPインジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。下表に従って対処してください。

表10. インジケータランプ表示

POWER インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内 容
橙色の点 灯	消 灯	消 灯	スタンバイモードが設定されています。
緑色の点 滅	消 灯	消 灯	ウォームアップ中です。お待ちください。
緑色の点 灯	消 灯	消 灯	オン状態です。通常操作可能です。
橙色の点 滅	消 灯	消 灯	冷却中です。お待ちください。
赤色の点 灯	赤色の点 灯	消 灯	ランプが点灯しません。内部が熱くなっている可能性があります。電源を切って20分程度おき、本機を冷ましてから通風孔が塞がっていないか、エアーフィルターは汚れていないか、周囲温度が30℃を超えていないか、などを確認してください。修正後、再度電源をオンにして、再び同じ表示になる場合は、ランプを交換してください。
赤色の点 灯	赤色の点 滅	消 灯	ランプまたはランプカバーが無いか、取り付けが不完全です。電源を切り、45分以上おいて本機を十分冷ましてから、ランプおよびランプカバーの取り付け状態を確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び同じ表示になる場合は、販売店またはサービス会社にご連絡ください。
赤色の点 灯	消 灯	赤色の点 滅	冷却ファンが動作しません。電源を切り、20分程度おいて本機を十分冷ましてから、ファンに異物が挟まっていないか、などを確認してください。修正後、再度電源をオンにして再び表示になる場合は、販売店またはサービス会社にご連絡ください。

お知らせ　内部の温度が上がり過ぎると、安全のため電源が自動的にオフになり、インジケータが消灯することがあります。電源スイッチの「○」側を押して20分程度おき、本機を十分冷ましてからご使用ください。

故障と間違え易い現象

本機では、電源オン時に下表のようなメッセージを表示することがあります。画面上にメッセージが現れたら、下表に従って対処してください。

表11. 故障と間違え易い現象

現 象	故障でない事例	確 認 内 容	ページ
電源が入らない	主電源が入っていない。	主電源を入れてください。	9
	電源コードが抜けている。	電源コードを正しく接続してください。	8,9
映像も音声も出ない	入力切り換えの設定が異なっている。	入力信号を選択し直してください。	10
	信号が入力されていない。	接続線を正しく接続してください。	7,8
映像は出るが音声が出ない	本機への配線が正しく接続されていない。	接続線を正しく接続してください。	7,8
	音量が極端に小さく調節されている。	「音量」を大きく調節してください。	10,15
	消音モードが設定されている。	MUTEボタンを押して消音モードを解除してください。	11
音声は出るが映像が出ない	本機への配線が正しく接続されていない。	接続線を正しく接続してください。	7,8
	明るさが極端に暗く調節されている。	「明るさ」を明るく調節してください。	12
	レンズキャップを取り付けたままになっている。	レンズキャップを外してください。	9
色がうすい色あいが悪い	色の濃さ、色あい	「赤色の濃さ」「青色の濃さ」「色あい」など、映像の調節を行ってください。	12
映像が暗い	明るさ、コントラストが正しく調節されていない。	明るさ、コントラストなど、映像の調節を行ってください。	12
	静音モードが設定されている。	MUTEボタンを押して消音モードを解除してください。	11
	ランプの寿命が近い。	新しいランプと交換してください。	17,18
画像がぼやける	フォーカスかクロック位相が合っていない。	フォーカスとクロック位相を調節してください。	9,12

お知らせ　画面中に輝点や黒点が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

仕　様

仕様一覧

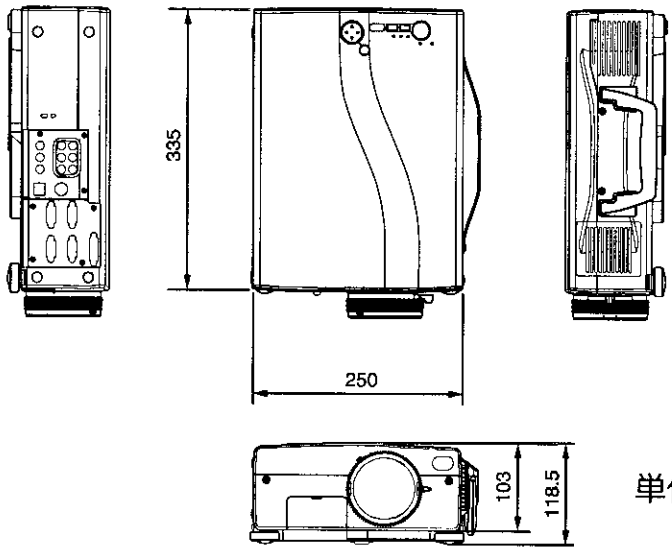
表12. 仕様一覧

項　目			仕　様
品　名			液晶プロジェクター
液晶パネル	パネルサイズ		2.3cm（0.9型）
	駆動式		TFTアクティブマトリクス
	画素数		1,397,760画素（水平1365×垂直1024）
レ ン ズ			ズームレンズ F=2.7～3.1　f=38.0～49.0mm
ラ ン プ			220W UHB
スピーカー			1W
電　源			AC100～120V, 4.0A / AC220～240V, 1.8A
消費電力			360W
使用温度範囲			0～35℃
外形寸法			250（幅）× 103（高さ）× 335（奥行き）mm
質　量			5.6 kg
RGB信号入力	RGB IN	1	映像信号：アナログ0.7V(p-p), 75Ω終端（正極性） 水平/垂直同期信号：TTLレベル（正極性/負極性） 複合同期信号：TTLレベル Dサブ15ピン・シュリンク・ジャック(メス)
		2	
	DVI		TMDS,DC：150～1200mV/AC：1.56V(p-p) TTLレベル（正極性/負極性）
	RGB AUDIO IN	RGB1/DVI	200mV(rms), 20kΩ（最大3.0V(p-p)） ステレオ・ミニジャック
		RGB2	
ビデオ信号入力	VIDEO		1.0V(p-p), 75Ω終端,　RCAジャック
	S-VIDEO		輝度信号：1.0V(p-p), 75Ω終端 色信号（NTSC,バースト）：0.286V(p-p)，75Ω終端 （PAL/SECAM, バースト）：0.3V(p-p)，75Ω終端 ミニDIN4ピン・ジャック
	COMPONENT VIDEO	Y	1.0V(p-p), 75Ω（正極性），RCAジャック
		C_B/P_B	0.7V(p-p), 75Ω（正極性），RCAジャック
		C_R/P_R	0.7V(p-p), 75Ω（正極性），RCAジャック
	VIDEO AUDIO IN	R	200mV(rms), 20kΩ（最大3.0V(p-p)）， RCAジャック
		L/MONO	
信号出力	RGB OUT		映像信号：アナログ0.7V(p-p), 出力インピーダンス75Ω（正極性） 水平/垂直同期信号：TTLレベル（正極性/負極性） 複合同期信号：TTLレベル Dサブ15ピン･シュリンク･ジャック（メス）
	AUDIO OUT		200 mV(rms), 出力インピーダンス1 kΩ（最大3.0 V(p-p)） ステレオ･ミニジャック
コントロール機能	CONTROL		Dサブ15ピン・シュリンク・プラグ
	USB		USBジャック（Bタイプ）
別　売　品			交換用ランプ：CP-SX5500J 027 交換エアーフィルター：CP-SX5500J 023 ・その他については販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

お知らせ　・この液晶プロジェクターを使用できるのは日本国内のみです。外国では使用できません。This liquid crystal projector set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

・本仕様は改良のため、予告無く変更することがあります。

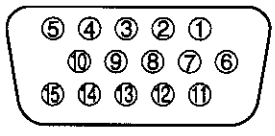
外形寸法



単位：mm

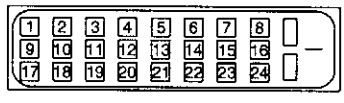
信号入/出力端子ピン配置

RGB IN [1]/[2]
RGB OUT



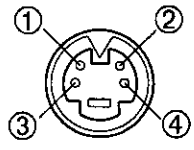
Dサブ15ピン・シュリンク端子

DVI



DVI端子

S-VIDEO



ミニDIN4ピン端子

表13. 信号入/出力端子ピン配置

Dサブ15ピン・シュリンク端子	
ピンNo.	信号
1	映像入力（赤）
2	映像入力（緑）
3	映像入力（青）
4	—
5	接地
6	接地（赤）
7	接地（緑）
8	接地（青）
9	—
10	接地
11	—
12	RGB IN [1] : SDA(DDC)
	RGB IN [2] : —
	RGB OUT : —
13	水平同期 / 複合同期
14	垂直同期
15	RGB IN [1] : SCL(DDC)
	RGB IN [2] : —
	RGB OUT : —

DVI端子	
ピンNo.	信号
1	T.M.D.S.データ 2−
2	T.M.D.S.データ 2+
3	T.M.D.S.データ 2/4シールド
4	—
5	—
6	DDCクロック
7	DDCデータ
8	アナログ垂直同期
9	T.M.D.S.データ 1−
10	T.M.D.S.データ 1+
11	T.M.D.S.データ 1/3シールド
12	—
13	—
14	+5V電源
15	接地（+5V,アナログ水平/垂直）
16	ホットプラグセンサー
17	T.M.D.S.データ 0−
18	T.M.D.S.データ 0+
19	T.M.D.S.データ 0/5シールド
20	—
21	—
22	T.M.D.S.クロックシールド
23	T.M.D.S.クロック +
24	T.M.D.S.クロック −

ミニDIN4ピン端子	
ピンNo.	信号
1	色信号 NTSC,バースト： 0.286V(p-p),75Ω終端 PAL/SECAM,バースト： 0.3V(p-p),75Ω終端
2	輝度信号
3	接地
4	接地

コンピュータの信号例

表14. コンピュータの信号例

解像度 H×V	fH (kHz)	fV (Hz)	規格	信号モード
720×400	37.9	85.0	VESA	TEXT
640×480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)
640×480	35.0	66.7		Mac13"mode
640×480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)
640×480	37.5	75.0	VESA	VGA (75Hz)
640×480	43.3	85.0	VESA	VGA (85Hz)
800×600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)
800×600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)
800×600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)
800×600	46.9	75.0	VESA	SVGA (75Hz)
800×600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)
832×624	49.7	74.5		Mac16"mode
1024×768	48.4	60.0	VESA	XGA (60Hz)
1024×768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)
1024×768	60.0	75.0	VESA	XGA (75Hz)
1024×768	68.7	85.0	VESA	XGA (85Hz)
1152×864	67.5	75.0	VESA	SXGA (75Hz)
1280×960	60.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)
1280×1024	64.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)
1280×1024	80.0	75.0	VESA	SXGA (75Hz)
1280×1024	91.2	85.0	VESA	SXGA (85Hz)
1600×1200	75.0	60.0	VESA	UXGA (60Hz)

お知らせ　・コンピュータによっては複数の表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合もあります。
・本機とコンピュータを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性を予めご確認ください。
・入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。
・DVI入力では、コンピュータによっては画像が正しく表示されないことがあります。この場合、解像度やリフレッシュレートを小さくしてご使用になると修正できることもあります。
・コンポジット、シンクオングリーンなどの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。

初期設定信号

本機では下記の信号を初期設定していますが、コンピュータは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じてメニューの「垂直位置」「水平位置」の調節を行ってください。

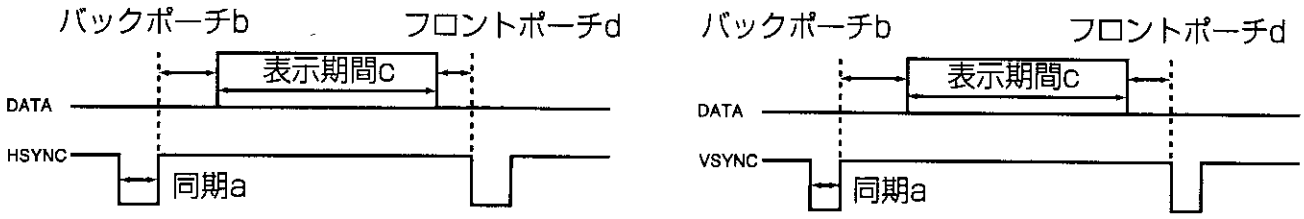


表15. 初期設定信号

パソコン/信号源	水平信号タイミング（μs）			
	a	b	c	d
TEXT	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA (60Hz)	3.8	1.9	25.4	0.6
Mac 13"mode	2.1	3.2	21.2	2.1
VGA (72Hz)	1.3	3.8	20.3	1.0
VGA (75Hz)	2.0	3.8	20.3	0.5
VGA (85Hz)	1.6	2.2	17.8	1.6
SVGA (56Hz)	2.0	3.6	22.2	0.7
SVGA (60Hz)	3.2	2.2	20.0	1.0
SVGA (72Hz)	2.4	1.3	16.0	1.1
SVGA (75Hz)	1.6	3.2	16.2	0.3
SVGA (85Hz)	1.1	2.7	14.2	0.6
Mac 16"mode	1.1	3.9	14.5	0.6
XGA (60Hz)	2.1	2.5	15.8	0.4
XGA (70Hz)	1.8	1.9	13.7	0.3
XGA (75Hz)	1.2	2.2	13.0	0.2
XGA (85Hz)	1.0	2.2	10.8	0.5
1152x864 (75Hz)	1.2	2.4	10.7	0.6
1280x960 (60Hz)	1.0	2.9	11.9	0.9
1280x1024 (60Hz)	1.0	2.3	11.9	0.4
1280x1024 (75Hz)	1.1	1.8	9.5	0.1
1280x1024 (85Hz)	1.0	1.4	8.1	0.4
1600x1200 (60Hz)	1.2	1.9	9.9	0.4

パソコン/信号源	垂直信号タイミング（ライン数）			
	a	b	c	d
TEXT	3	42	400	1
VGA (60Hz)	2	33	480	10
Mac 13"mode	3	39	480	3
VGA (72Hz)	3	28	480	9
VGA (75Hz)	3	16	480	1
VGA (85Hz)	3	25	480	1
SVGA (56Hz)	2	22	600	1
SVGA (60Hz)	4	23	600	1
SVGA (72Hz)	6	23	600	37
SVGA (75Hz)	3	21	600	1
SVGA (85Hz)	3	27	600	1
Mac 16"mode	3	39	624	1
XGA (60Hz)	6	29	768	3
XGA (70Hz)	6	29	768	3
XGA (75Hz)	3	28	768	1
XGA (85Hz)	3	36	768	1
1152x864 (75Hz)	3	32	864	1
1280x960 (60Hz)	3	36	960	1
1280x1024 (60Hz)	3	38	1024	1
1280x1024 (75Hz)	3	38	1024	1
1280x1024 (85Hz)	3	44	1024	1
1600x1200 (60Hz)	3	46	1200	1

マウスコントロール

PS/2, ADB, シリアル・マウス：

1. 本機およびコンピュータの電源を切り、本機のコントロール端子を通信ケーブルでコンピュータに接続してください。
   PS/Sマウス（IBMおよびIBM互換機）のコントロールには付属のPS/2マウスケーブルをご使用ください。ADBマウス（Apple機）、シリアルマウスのコントロールには、別売のケーブルが必要です。
2. USBケーブルが接続されていれば外し、本機の電源を入れてください。
3. コンピュータの電源を入れてください。
4. マウスコントロールを開始できます。
   4頁「リモコン送信機」図中、マウスマーク の項をご参照ください。マウスコントロールが機能しない場合は、コンピュータを再起動（ソフトリセットまたはリセットスイッチを操作）してください。

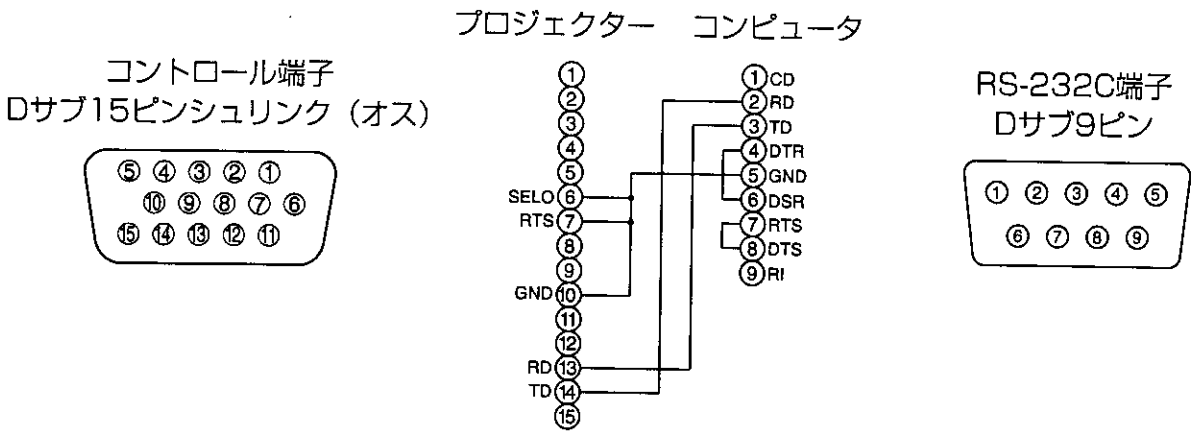
USBマウス：

1. 本機およびコンピュータのUSB端子を、市販のUSBケーブルで接続してください。
   USBケーブルの入手については、必要に応じて販売店またはサービス会社にお問い合わせください。
2. マウスコントロールを開始できます。
   4頁「リモコン送信機」図中、マウスマーク の項をご参照ください。

お知らせ ・接続まえには、必ず接続する機器の説明書をお読みください。
・ポインティングデバイス（トラックボールなど）を内臓するノートタイプコンピュータなどでは内臓ポインティングデバイスが優先されて、本機のマウスコントロールが実行できないことがあります。この場合は接続のまえに、コンピュータのBIOS設定（システムセットアップ）をポインティングデバイス無効、外部マウス選択に変更してください。また、コンピュータによっては、ユーティリティプログラムが無いとマウスが動かないものがあります。詳細はコンピュータのハードウェアの説明書をご覧ください。
・USBはマウスコントロール機能のみ有効です。パーソナルコンピュータ以外には接続しないでください。
・Windows95はバージョンOSR2.1以上でUSBマウスコントロールがご使用になれます。ホストコントローラの種類やバージョンによってはご使用になれない場合があります。

RS-232C通信

(1) 本機およびコンピュータの電源を切り、RS-232Cケーブルで接続してください。
(2) コンピュータの電源を入れ、コンピュータが立ち上がったあとに本機の電源を入れてください。



通信設定： 19200bps, 8N1

プロトコル構成： ヘッダ（7バイト）+コマンドデータ（6バイト）

ヘッダ： BE + EF + 03 + 06 + 00 + CRC_low + CRC_hige
CRC_low：コマンドデータ6バイトに対するCRCフラグ下位1バイト
CRC_high：コマンドデータ6バイトに対するCRCフラグ上位1バイト

コマンドデータ：

コマンドデータの構成

byte_0	byte_1	byte_2	byte_3	byte_4	byte_5
Action		Type		Setting code	
low	high	low	high	low	high

Action (byte_0 - 1)

Actionの値	分　類	内　容
1	SET	設定を任意の値に変更します。
2	GET	プロジェクター内部の設定値を読み出します。
4	INCREMENT	設定値を1つ増やします。
5	DECREMENT	設定値を1つ減らします。
6	EXECUTE	コマンドを実行します。

プロジェクターの状態を問い合わせる場合（Get command）
(1) コンピュータから質問コードヘッダ+コマンドデータ（'02H'+'00H'+ type (2 bytes) +'00H'+'00H'）をプロジェクターに送ります。
(2) プロジェクターは回答コード'1DH'+data (2 byte)をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定を変更する場合（Set command）
(1) コンピュータから質問コードヘッダ+コマンドデータ（'01H'+'00H'+ type (2 bytes)+セッティング コード(2 bytes)）をプロジェクターに送ります。
(2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を変更します。
(3) プロジェクターは回答コード'06H'をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定をデフォルトにする場合（Reset Command）
(1) コンピュータからデフォルト設定コードヘッダ+コマンドデータ（'06H'+'00H'+ type (2 bytes) +'00H'+'00H'）をプロジェクターに送ります。
(2) プロジェクターは指定された設定コードをデフォルトに変えます。
(3) プロジェクターは回答コード'06H'をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定値を増やす場合（Increment command）
(1) コンピュータから増加設定コードヘッダ+コマンドデータ（'04H'+'00H'+ type (2 bytes) +'00H'+'00H'）をプロジェクターに送ります。
(2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を増加します。
(3) プロジェクターは回答コード'06H'をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定値を減らす場合（Decrement command）
(1) コンピュータから減少設定コードヘッダ+コマンドデータ（'05H'+'00H'+ type (2 bytes) +'00H' + '00H'）をプロジェクターに送ります。
(2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を減少します。
(3) プロジェクターは回答コード'06H'をコンピュータへ返します。

プロジェクターが送信されたコマンドを理解できない場合
プロジェクターが送られたコマンドを理解できない場合は、エラーコード'15H'をプロジェクターに送ります。いくらかのプロジェクターは他の仕事を催促しているRS-232C命令を無視します。
もし、エラーメッセージ'15H' が返される場合は、再度同じコードを送ってください。

プロジェクターが送信されたデータを実行できない場合
プロジェクターが送られたコマンドを実行できない場合は、エラーコードの'1cH'+'xxxxH'を返します。
なお、必要なデータ符号長より長い場合、プロジェクターは余分なデータ符号を無視します。逆に、必要なデータ符号長より短い場合、プロジェクターは本エラーコードを返します。

お知らせ・プロジェクターが未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
・回答コードと他のコードの間隔は40ms以上あけてください。
・セットの電源投入時およびランプ点灯後にプロジェクターからテスト用のデータが出力されますが無視してください。
・ウオームアップ中はコマンドを受信できません。

表16. RS-232Cコマンド一覧

Names	Operation type		Header			CRC	Command data		
							Action	Type	Setting code
Blank Color	Set	Red	BE EF	03	06 00	3B D3	01 00	00 30	00 00
		Orange	BE EF	03	06 00	AB D2	01 00	00 30	01 00
		Green	BE EF	03	06 00	5B D2	01 00	00 30	02 00
		Blue	BE EF	03	06 00	CB D3	01 00	00 30	03 00
		Purple	BE EF	03	06 00	FB D1	01 00	00 30	04 00
		White	BE EF	03	06 00	6B D0	01 00	00 30	05 00
		Black	BE EF	03	06 00	9B D0	01 00	00 30	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 D3	02 00	00 30	00 00
Mirror	Set	Normal	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00
		H Inverse	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00
		V Inverse	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00
		H&V Inverse	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00
	Get		BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00
Freeze	Set	Normal	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00
		Freeze	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00
Menu Color	Set	Red	BE EF	03	06 00	7F D3	01 00	03 30	00 00
		Orange	BE EF	03	06 00	EF D2	01 00	03 30	01 00
		Green	BE EF	03	06 00	1F D2	01 00	03 30	02 00
		Blub	BE EF	03	06 00	8F D3	01 00	03 30	03 00
		Purple	BE EF	03	06 00	BF D1	01 00	03 30	04 00
		Transparent	BE EF	03	06 00	2F D0	01 00	03 30	05 00
		Gray	BE EF	03	06 00	DF D0	01 00	03 30	06 00
	Get		BE EF	03	06 00	4C D3	02 00	03 30	00 00
Startup	Set	Turn ON	BE EF	03	06 00	0B D2	01 00	04 30	00 00
		Turn OFF	BE EF	03	06 00	9B D3	01 00	04 30	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00
Language	Set	English	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00
		Français	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00
		Deutsch	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00
		Español	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00
		Italiano	BE EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00
		Norsk	BE EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00
		Nederlands	BE EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00
		Português	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00
		Japanese	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00
	Get		BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00

表16. RS-232Cコマンド一覧（つづき）

Names	Operation type	Header	CRC	Command data		
				Action	Type	Setting code
Magnify	Get	BE EF 03 06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00
	Increment	BE EF 03 06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00
	Decrement	BE EF 03 06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00
Auto off	Get	BE EF 03 06 00	08 86	02 00	10 31	00 00
	Increment	BE EF 03 06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00
	Decrement	BE EF 03 06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00
Brightness Reset	Execute	BE EF 03 06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00
Contrast Reset	Execute	BE EF 03 06 00	A4 D2	06 00	01 70	00 00
V.Position Reset	Execute	BE EF 03 06 00	E0 D2	06 00	02 70	00 00
H.Position Reset	Execute	BE EF 03 06 00	IC D3	06 00	03 70	00 00
H.Size Reset	Execute	BE EF 03 06 00	68 D2	06 00	04 70	00 00
Color Balance R Reset	Execute	BE EF 03 06 00	94 D3	06 00	05 70	00 00
Color Balance B Reset	Execute	BE EF 03 06 00	D0 D3	06 00	06 70	00 00
Sharpness Reset	Execute	BE EF 03 06 00	C4 D0	06 00	09 70	00 00
Color Reset	Execute	BE EF 03 06 00	80 D0	06 00	0A 70	00 00
Tint Reset	Execute	BE EF 03 06 00	7C D1	06 00	0B 70	00 00
Keystone Reset	Execute	BE EF 03 06 00	08 D0	06 00	0C 70	00 00
Auto	Execute	BE EF 03 06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00
Blank on/off	Set off	BE EF 03 06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00
	Set on	BE EF 03 06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00
	Get	BE EF 03 06 00	C8 D8	02 00	20 30	00 00
Error Status	Get	BE EF 03 06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00
		(Example of Return) 00 00 (Normal) 01 00 (Cover-error) 02 00 (Fan-error) 03 00 (Lamp-error) 04 00 (reserved) 05 00 (reserved) 06 00 (Lamp-Time-over)				
Power	Set OFF	BE EF 03 06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00
	Set ON	BE EF 03 06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00
	Get	BE EF 03 06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00
Input Source	Set RGB1	BE EF 03 06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00
	Set RGB2	BE EF 03 06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00
	Set DVI	BE EF 03 06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00
	Set Video	BE EF 03 06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00
	Set SVideo	BE EF 03 06 00	9E D3	01 00	00 20	02 00
	Set Component	BE EF 03 06 00	AE D1	01 00	00 20	05 00
	Get	BE EF 03 06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00
Volume	Get	BE EF 03 06 00	31 D3	02 00	01 20	00 00
	Increment	BE EF 03 06 00	57 D3	04 00	01 20	00 00
	Decrement	BE EF 03 06 00	86 D2	05 00	01 20	00 00

表16. RS-232Cコマンド一覧（つづき）

Names	Operation type		Header	CRC	Command data: Action	Type	Setting code
Mute	Set	Normal	BE EF 03 06 00	46 D3	01 00	02 20	00 00
		Mute	BE EF 03 06 00	D6 D2	01 00	02 20	01 00
	Get		BE EF 03 06 00	75 D3	02 00	02 20	00 00
Brightness	Get		BE EF 03 06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00
Contrast	Get		BE EF 03 06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00
Color Balance R	Get		BE EF 03 06 00	01 D2	02 00	05 20	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	67 D2	04 00	05 20	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	B6 D3	05 00	05 20	00 00
Color Balance B	Get		BE EF 03 06 00	45 D2	02 00	06 20	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	23 D2	04 00	06 20	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	F2 D3	05 00	06 20	00 00
Keystone_V	Get		BE EF 03 06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00
Keystone_H	Get		BE EF 03 06 00	E9 D0	02 00	0B 20	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	8F D0	04 00	0B 20	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	5E D1	05 00	0B 20	00 00
Aspect	Set	4:3, Full	BE EF 03 06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00
		16:9	BE EF 03 06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00
		Small	BE EF 03 06 00	FE D1	01 00	08 20	02 00
		Real	BE EF 03 06 00	6E D0	01 00	08 20	03 00
	Get		BE EF 03 06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00
Display Position at 16 : 9 or Small	Set	Default	BE EF 03 06 00	62 D1	01 00	09 20	00 00
		Bottom	BE EF 03 06 00	F2 D0	01 00	09 20	01 00
		Top	BE EF 03 06 00	02 D0	01 00	09 20	02 00
	Get		BE EF 03 06 00	51 D1	02 00	09 20	00 00
V.Position	Get		BE EF 03 06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00
H.Position	Get		BE EF 03 06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	97 82	04 00	01 21	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	46 83	05 00	01 21	00 00
H.Size	Get		BE EF 03 06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	02 83	05 00	02 21	00 00
H.Phase	Get		BE EF 03 06 00	49 83	02 00	03 21	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00

表16. RS-232Cコマンド一覧（つづき）

Names	Operation type		Header	CRC	Command data		
					Action	Type	Setting code
Sharpness	Get		BE EF 03 06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	97 72	04 00	01 22	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	46 73	05 00	01 22	00 00
Color	Get		BE EF 03 06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	02 73	05 00	02 22	00 00
Tint	Get		BE EF 03 06 00	49 73	02 00	03 22	00 00
	Increment		BE EF 03 06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00
	Decrement		BE EF 03 06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00
Video Format	Set	Auto	BE EF 03 06 00	9E 75	01 00	00 22	0A 00
		NTSC	BE EF 03 06 00	FE 71	01 00	00 22	04 00
		PAL	BE EF 03 06 00	6E 70	01 00	00 22	05 00
		SECAM	BE EF 03 06 00	6E 75	01 00	00 22	09 00
		NTSC 4.43	BE EF 03 06 00	5E 72	01 00	00 22	02 00
		M-PAL	BE EF 03 06 00	FE 74	01 00	00 22	08 00
		N-PAL	BE EF 03 06 00	0E 71	01 00	00 22	07 00
	Get		BE EF 03 06 00	0D 73	02 00	00 22	00 00
Progressive	Set	off	BE EF 03 06 00	4A 72	01 00	07 22	00 00
		TV	BE EF 03 06 00	DA 73	01 00	07 22	01 00
		FILM	BE EF 03 06 00	2A 73	01 00	07 22	02 00
	Get		BE EF 03 06 00	79 72	02 00	07 22	00 00
Black	Set	off	BE EF 03 06 00	5E 71	01 00	08 22	00 00
		on	BE EF 03 06 00	CE 70	01 00	08 22	01 00
	Get		BE EF 03 06 00	6D 71	02 00	08 22	00 00
HDTV	Set	1080i	BE EF 03 06 00	F2 73	01 00	05 22	00 00
		1035i	BE EF 03 06 00	62 72	01 00	05 22	01 00
	Get		BE EF 03 06 00	C1 73	02 00	05 22	00 00
PinP Size	Set	off	BE EF 03 06 00	FE 22	01 00	00 23	00 00
		Large	BE EF 03 06 00	6E 23	01 00	00 23	01 00
		Small	BE EF 03 06 00	9E 23	01 00	00 23	02 00
	Get		BE EF 03 06 00	Cd 22	02 00	00 23	00 00

表16. RS-232Cコマンド一覧（つづき）

Names	Operation type		Header			CRC	Command data		
							Action	Type	Setting code
PinP Position	Set	Upper left	BE EF	03	06 00	02 23	01 00	01 23	00 00
		Upper right	BE EF	03	06 00	92 22	01 00	01 23	01 00
		bottom left	BE EF	03	06 00	62 22	01 00	01 23	03 00
		bottom right	BE EF	03	06 00	F2 23	01 00	01 23	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	31 23	02 00	01 23	00 00
PinP Audio ch	Set	RGB	BE EF	03	06 00	BA 22	01 00	03 23	00 00
		Video	BE EF	03	06 00	2A 23	01 00	03 23	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	89 22	02 00	03 23	00 00
PinP Input	Set	Video	BE EF	03	06 00	D6 22	01 00	02 23	01 00
		S-Video	BE EF	03	06 00	26 22	01 00	02 23	02 00
		Component	BE EF	03	06 00	16 20	01 00	02 23	05 00
	Get		BE EF	03	06 00	75 23	02 00	02 23	00 00
Sync on G	Set	off	BE EF	03	06 00	CB D0	01 00	08 30	01 00
		on	BE EF	03	06 00	5B D1	01 00	08 30	00 00
	Get		BE EF	03	06 00	68 D1	02 00	08 30	00 00
WHISPER	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00
		WHISPER	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00
	Get		BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00
GAMMA	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	C7 F0	01 00	A1 30	00 00
		CINEMA	BE EF	03	06 00	57 F1	01 00	A1 30	01 00
		DYNAMIC	BE EF	03	06 00	A7 F1	01 00	A1 30	02 00
	Get		BE EF	03	06 00	F4 F0	02 00	A1 30	00 00

保証とアフターサービスについて

**このたびは、日立液晶プロジェクターをお求めいただき、
まことにありがとうございます。**

・この製品には保証書が添付されています。内容をよくご確認のうえ、所定事項を記入して、大切に保管してください。

・本機に不調が見られる場合は、まず20～22頁「故障かな？と思ったら」に従って、ご確認をお願いいたします。これによって改善できない場合は、販売店またはサービス会社にご相談ください。

・保証期限の修理については、保証書に記載の内容に基づいて修理させて頂きます。詳細は保証書をご覧ください。

・保障期間経過後の修理については、販売店またはサービス会社にご相談ください。修理可能な場合は、ご要望により、有料修理させて頂きます。

・ランプやエアーフィルターなどの消耗品は、保障期間内でも有料です。

⚠警告 ●煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、などの異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜いて、販売店またはサービス会社にご連絡ください。

ユーザー登録のご案内

このたびは、日立液晶プロジェクターをお求めいただき、まことにありがとうございます。
日立ではお買い上げ頂いた皆様へのサポートの充実を図るために、「ユーザー登録」をお勧めしております。下記方法にてご登録お願い致します。

オンラインによる登録方法：

1. 日立ホームページ（http://www.hitachi.co.jp/proj/）へアクセスする。
2. 画面にユーザー登録のアイコンをクリックする。
3. 登録内容、簡単なアンケートにお応えください。
4. ユーザー登録完了画面になりましたら「ユーザー登録」完了です。

日立液晶プロジェクターホームページ
http://www.hitachi.co.jp/proj/

サービス会社一覧

日立液晶プロジェクターの保守サービスは下記のサービス会社にて対応させて頂きます。障害発生時の修理依頼、保守契約の締結等は、お客様の最寄の下記のサービス会社へご連絡ください。

表17. サービス会社一覧表

会社名	〒	住　所	TEL	管轄エリア
(株) 日立家電 ハイテック北海道	003-0002	札幌市白石区 東札幌２条4-1-10	(011)833-1725	北海道 全域
(株) 日立家電 ハイテック東北	983-0034	仙台市宮城野区 扇町3-2-9	(022)237-2311	青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島
(株) 日立家電 ハイテック東京	279-0024	千葉県浦安市港 77-3	(047)382-1111	茨城 栃木 群馬 千葉 埼玉 東京 神奈川 山梨 静岡 (富士川以東) 長野 新潟
(株) 日立家電 ハイテック中部	454-0839	名古屋市中川区 篠原橋通１-１	(052)354-0546	富山 石川 福井 岐阜 静岡 (富士川以西) 愛知 三重
(株) 日立家電 ハイテック関西	559-0021	大阪市住之江区 柴谷１-１-71	(06)6686-5611	滋賀 京都 大阪 奈良 兵庫 和歌山
(株) 日立家電 ハイテック中国	733-0036	広島市西区 観音新町１-７-17	(082)503-2462	鳥取 島根 岡山 広島 山口
(株) 日立家電 ハイテック四国	762-0012	坂出市林田町 4285-143	(0877)47-3133	四国全域
(株) 日立家電 ハイテック九州	811-0213	福岡市東区 和白丘２-１-１	(092)606-2831	九州全域 沖縄

お知らせ　・上記の住所・電話番号は転居等により予告無く変更する場合がありますが、その場合は下記へお問い合わせください。

(株)日立製作所 デジタルメディアシステム事業部 ディスプレイ企画部
〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地
TEL (045)866-6305

●購入店名などを記入しておきますと、アフターサービスのとき便利です。

購入店名	電話（　　）
購入年月日	年　　月　　日
●万一故障などでアフターサービスをお申しつけのときは、右の内容をお知らせください。	形名=（本体）CP-SX5500J 症状=できるだけ詳しく 道順=付近の目印も

株式会社 日立製作所　デジタルメディアシステム事業部

〒244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地
電話 (045)866-6305

QR51051

Printed in Japan (J)